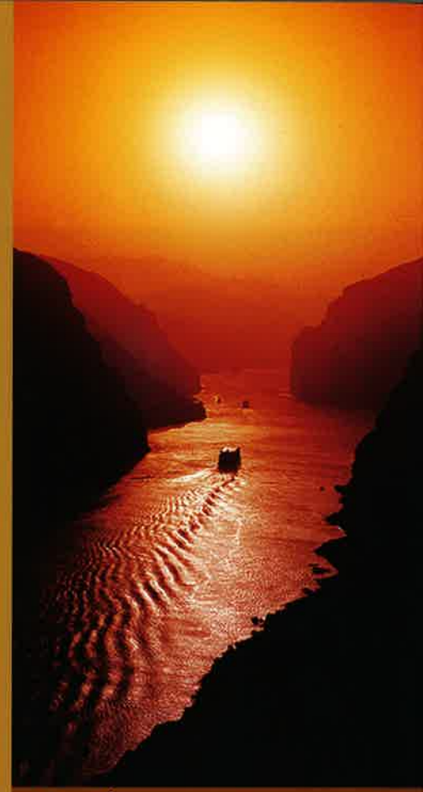
中国
長江三峡
中华人民共和国国家旅游局
中華人民共和国国家観光局

次へ →

長江三峡
観光マップ

中国における長江の位置



目 次

02/ 三峡印象

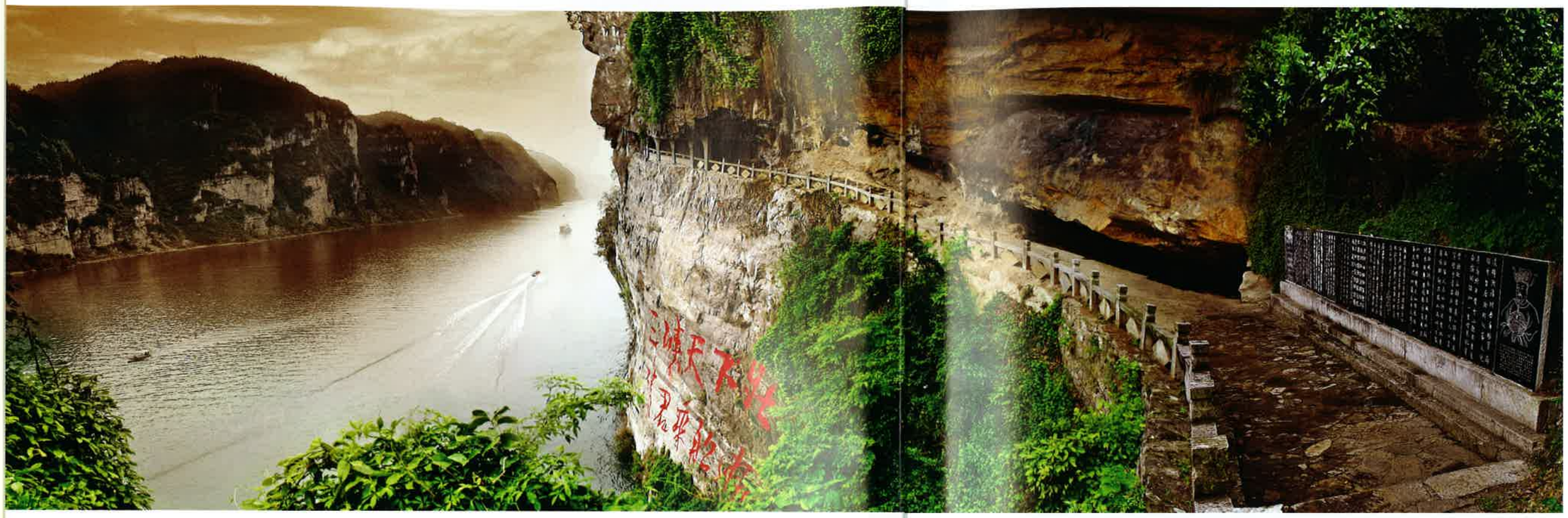
04/ 三峡を下る

48/ 三峡延長線の観光

64/ クラシカル観光コース

65/ 特色ある民俗祝祭日

68/ 観光情報



三峡印象

世界第3の長大な河川である長江は、世界の屋根―青海・チベット高原の沱沱河（ododo）に始まり、滔々と東中国海へと向かう。四川盆地の東の縁にさしかかると、当たるべからざる勢いで峻険な山々を刻み切りひらいて東へと流れ下る。それが世に名高い大峡谷の長江三峡である。2006年5月には世界最大の三峡ダムがついに完成して絶景三峡に新しい景観をもたらした。

長江三峡とは瞿塘峡・巫峡・西陵峡からなる3つの峡谷の総称で、西は重慶奉節県の白帝城から、東は湖北宜昌市の南津関までの全長193km区間をさし、「天然の山水画廊」と呼ばれるほど峡谷の風光はすばらしい。三峡ダムの工事が完成したことによってこれまでとは違った新しい三峡景観が姿を現した。三峡下りの観光はふつう重慶を起点にしている。船が峡谷を進むにしたがって眼前に山水の美景がいとまなく次々と迫ってくる。水位が高くなったことで長江支流の川幅も広がり、これまで深い閨（ねや）に隠れていた長江沿いの観光スポットも人に知られるようになった。こうして増えた新しい峡谷や湖泊、島嶼、鍾乳洞と、もとからの風光明媚な景観が一体にとけあって立体的に豊かになり、新三峡の美しい絵巻を構成するようになった。

長江三峡は偉大な「歴史文化の長い廊下」に喩えることもできる。竜骨坡文化遺跡、大溪文化遺跡などは中華文明のもう一つの揺籃の輪郭を描き出している。岸の絶壁に吊り下がった懸棺は謎の多い巴人（古代、四川東部の住人）の伝説にかかわりがある。三国時代の呉・蜀両軍が対峙した遺跡や雲陽の張飛廟、白帝城の劉備託孤（孤児を託す）堂、荊州の関帝廟、宜昌の三国遺跡、荊州の古城壁などの史跡は、奔騰する歴史の盛衰興亡をかいま見てきた長江のあかしである。また千年余の歳月の間に神女峰の「神女」は、中国芸術史上のいくたの傑作の誕生を目にしてきた。詩人、書画家、政治家など多くの傑出した人物たちが三峡にこと寄せて壮麗な詩歌や曲折ある典故を残していった。三峡には中華民族の精神と気概、詩情と才気が留められている。

長江三峡には古くは大禹治水の故事があり、いままた世に名高い三峡ダムが加わって、伝統と現代がぶつかってここで新世紀の火花を散らした。三峡での水利工事は三峡の航運事業を新しい高みに引き上げ、多くの観光航路はいっそう充実し、サービスは国際レベルに達している。三峡を遊覧船で上り下りする快適なクルーズでは、船曳き人夫たちの掛け声と船歌を耳にしたり、ダム建設に伴う移住者の新しい町々を目にすることもできる。新しい三峡の旅は人々を魅力させる観光である。

「更に西のかた江に石の壁を立て、巫山の雲雨截ち断(き)りて、高き峡(たに)に平らなる湖(うみ)を出(いだ)せ」と詠んだ偉人毛沢東の詩句は、いまや現実の絵巻となって現出した。雄大な山水、厚みのある人文、偉大な人力が一丸になった大自然の傑作が、いっそう魅力をまして国内海外の友人を迎えようとしている。

三峡を下る

重慶市

4大直轄市の一つである重慶は中国西南部に位置し、その行政管轄区は主に長江沿線に分布している。町全体が丘陵部に寄り添って川沿いにあり、建物が折り重なっている。そのため、山と城（まち）が融け合って「山城」の別称でも知られる。夏と秋に雨が多く、ことに夜中に雨がよく降る。晩秋から初春にかけては霧が多く発生し、町じゅうが雲の中にいるようにぼうっと霞む。それで重慶には「霧都」という別称もある。

春秋時代の巴国の都で、隋・唐代には渝（ゆ）州と呼ばれたので、巴渝文化、三国文化、三峡文化などが異彩を放っている。国内でもっとも特色をそなえた山水園林都市でもあり、主な都市景観として山城夜景、三峡広場、人民大礼堂、三峡博物館、朝天門広場などがある。このほかにも世界文化遺産の大足石刻や長江三峡の観光名所である豊都鬼城、雲陽張飛廟、忠県石宝寨、奉節白帝城など、さらに雪玉洞、天坑地縫、紅岩村、磁器口古鎮、南温泉、釣魚城、白公祠などもあって、自然と人文が混然一体になった得がたい観光資源に恵まれている。

重慶市観光ウェブサイト：http://www.cqta.gov.cn

山城夜景

山城夜景

「夜景を見なければ重慶に来た甲斐がない」と地元の人は言う。市街地の渝中区は地勢が山斜面を背に川に面し、よそでは見られぬ立体感に富む夜景が浮かびあがる。夜のとばりが降りると繁華街の電飾が一斉にともり、幹線道路と橋梁の照明がベルト状に伸び、折り重なって建つ家々の無数の灯火も加わって、華やかなイルミネーションの大海原となる。それが長江と嘉陵江の水面にも映り込んで流れている銀河のように見える。

関連情報：[illegible]

重慶市の朝風景

重慶市人民大礼堂

渝中区人民路学田湾にある人民大礼堂は北京の天壇にある祈年殿や天安門の形式を模倣した建築群が主体で、重慶のランドマーク的な存在である。階段を下りると下に大理石で舗装した人民広場、音楽噴水があり、市民の憩いの場になっている。夜には社交ダンスを楽しむ人々が数千にのぼって盛り上がる。

交通：181、215 路などのバスで行く。

重慶市人民大礼堂

三峡博物館

重慶市渝中区人民路 236 号にある。前身は重慶市博物館で、いまも重慶博物館としての館名と機能をもち、歴史・芸術ジャンルの総合博物館になっている。建築面積 4.2 万余㎡。出土品、宝物、西南少数民族文物などを収蔵する。4 つの基本陳列「壮麗三峡」・「遠古巴渝」・「重慶：都市への道」・「抗戦歳月」と 6 つのテーマ陳列「李初梨寄贈文物」・「歴代書画」・「歴代磁器」・「漢代彫塑芸術」・「西南民族民俗風情」・「歴代貨幣」および「重慶大爆撃」半景画陳列、360 度全周映画投影、それに観衆実践センターと 3 つの臨時展覧がある。現代的な声・光・電テクノロジーを駆使して三峡が織りなす絶景や重慶の豊かな歴史文化を投影している。

交通：103、104、105 路などのバス路線で行く。

ウェブサイト：http://www.3gmuseum.cn

朝天門

中国三峡博物館

三峡広場

沙坪壩区の中心部にあり、都市観光の新しい注目スポット。緑色芸術広場、文化名人広場、商業文化広場に隣接し、観光・ショッピング・娯楽・飲食・レジャーなどが一体になっている。長さ 100 m、幅 8 mの人造川を長江に見たて、両側に豊都鬼城、奉節白帝城、忠県石宝寨、巫山神女峰、瞿塘峡夔門など三峡沿線の有名な景観を配しており、町中に居ながらにして長江三峡の景色を見て楽しむことができる。

交通：181、215、418 路など多くのバスで行ける。

朝天門と朝天門広場

朝天門は重慶市渝中区の長江と嘉陵江の合流点にある。明代（1368—1644 年）、重慶は「八卦陣に則って 17 の城門を建てたが、そのなかで規模がもっとも大きいのが朝天門である。長江と嘉陵江がここに流れ込んでぶつかり合

三峡広場彫塑

石宝寨

い、壮観である。長江上流の最大の港湾で、三峡クルーズが発着する重要な埠頭になっている。

朝天門広場は1998年に造られ、護岸階段、観景広場、交通広場からなっている。広場の護岸階段の造型は風に乗り波浪を突き進む巨艦のようである。観景広場は敷地が広く、眺望がひらけている。

交通：224、418、461路など多くのバスで行ける。

万州青竜瀑布風景区

重慶万州区にあり、市街区から30㎞。山・水・瀑・洞・潭・湖・虹の美しさで知られ、瀑布の下の1600㎡の水簾洞に想像力をかきたてられ、7000㎡の青竜洞の天然の「天工画壁」に思わず感嘆させられる。

交通：渝涪高速道路で万州区まで行き、青竜瀑布行きバスなどに乗り換える。

石宝寨

忠県境内の長江の川岸にあり、古い寨門（とりでの門）、塔楼、寨頂の古刹からなる。岩山が突き出ていて、断崖にへばり付いたように楼閣が建っている。古寨門は牌楼のような形をしており、門額に横書きで「梯雲直上」、縦書きで「小蓬莱」と書かれている。塔楼は多層の造りで、屋根の軒（のき）は高く反り上がり、上層に行くほど塔身が狭まる。柱に穴を開けて梁を通す構造（穿斗式）の木構造で、斗拱（柱の上にある、縦の部材と横の部材を結ぶ木を組み合わせるもの）はなく、釘は1本も打たれていない建造物である。内部に木造の梯子があって上層に登れる。寨頂にある古刹天子殿は岩峰にもたれて壁が築かれ、

万州青竜瀑布

港口遊覧船

豊都名山景区—鬼城

殿宇が高くそびえている。石宝寨は中国古建築芸術の至宝である。

交通：朝天門埠頭から遊覧船で石宝寨に行く。

関連情報：三峡ダムの貯水位が175 mになると、奇峻江門中央が水没するので、この貴重な文物を保護するため、周囲を堤防で囲む保護工事が施された。

豊都名山景区

有名な豊都の名山「鬼城」（鬼の町）は長江北岸に位置し、新しい県城と長江を隔て向かい合い、儒教・道教・仏教文化が混じり合った民俗文化芸術の宝庫である。名山景区は主に哼哈祠、豪陽殿（大雄宝殿）、玉皇殿、百子殿など1祠5殿からなる。閻魔大王のいる「陰曹地府」の塑像は奇抜な構図で鬼気迫っており、神や鬼がそれぞれの役目につき、凄惨な酷刑でもって地下深くにある冥界を統治している。山に彫り付けられた鬼王の石刻は高さが138 mもあり、体の幅217 m、口の大きさ20 m、舌の長さ81 m。川を隔てて見ると鬼王の姿はいかにも恐ろしげである。観光客は鬼王石刻にある石段を登って鬼王の全身をめぐることができる。

交通：遊覧船に乗って風景区に行く。

ウェブサイト：http://www.cgcfd.com.cn

豊都奈何橋

豊都雪玉洞

豊都雪玉洞

国内で開発された洞窟ではもっとも地質年代の「若い」鍾乳洞で、観賞や研究価値がきわめて高い。洞内の80％の鍾乳石は「白きこと雪の如く、質の純なること玉の如し」。上部から下部にかけて3層に分かれ、全長1644 mの参観ルートがすでに開発されている。中国で初めての洞窟科学普及基地である。

張飛廟

長江南岸の盤石鎮にあり、豊陽の新しい県城と川を隔てて向かいあい、もとの張飛廟の地理環境と自然風貌を保っている。移設された廟は川べりの巨大な岸壁の上にそびえている。廟の前の石壁には「江上風清」の4字が大きな字体で書かれ人目をひく。正殿は華麗で堂々としていて、張飛の大きな銅製の塑像が中央に立ち、雄々しくいかめしい。廟内の結義堂は荘重で広々とした造りで、劉備・関羽・張飛が桃園で契りを結んで義兄弟になった物語にちなんでいる。ほかにも傍殿、望雲殿、助風閣、杜鵑亭、得月亭を含め計7つの建物がある。杜鵑亭と得月亭は唐代の詩人杜甫（712—770年）を記念したもので、張飛廟は文武が合わさった珍しい廟となっている。

張飛廟には文章・書法・彫刻が絶世という「三絶」の称がある。廟内に詩詞、歌賦、書画、碑刻などの絶品があり、漢・唐代以来の字画碑刻は600余点、各種文物1000余点がある。木刻の顔真卿（708—784年）の『争座位貼』や石刻の前、後『赤壁賦』大字長巻、後『出師表』、黄庭堅（1045—1105年）の縦書「唐韓伯庸幽蘭賦」、鄭板橋（1693—1765年）の書いた詩文と竹石、蘭石絵画などは特に名高い。このため張飛廟は「文藻（文章や言葉の彩り）勝地」としても世に聞こえている。

交通：遊覧船に乗って張飛廟観光埠頭まで行く。

関連情報：劉備（161—223年）は蜀漢の昭烈帝。三国時代に蜀漢をうちたて、221—223年に在位。関羽（?—220年）は、三国蜀漢の武将。後漢末に涿県に亡命し、劉備につき従って兵を挙げた。戦場を駆けめぐり、麦城の一戦で敗れ殺された。宋代以降、その事績がだんだん神格化され、「関公」「関帝」と尊称された。張飛（?—221年）は三国蜀漢の武将。後漢末に劉備について挙兵し、南北を転戦し、劉備が蜀漢をうちたてるのを助けた。章武元年（221年）に劉備にしたがって呉国を攻めたが、出発に際し他の部将に刺殺された。

張飛像

張飛廟

瞿塘峡

山水画廊

長江三峡の観光コースは目下、中国で比較的成熟した観光コースのひとつで、豊かな人文景観と優美な山水風光に加えて、地方色ある峡江での急流下り（ラフティング、漂流）、民族歌舞、水上の船曳、山林探検なども楽しめ、人気のある観光遊覧の地になっている。

三峡観光といえばやはり水上観光が主体で、陸上移動は補助的である。観光クルーズで大部分の三峡風光は楽しめる。国内外の多くの名のある運航会社がそろい、さまざまなグレードの豪華クルーズ船で上質な船上サービスを提供している。三峡クルーズはふつう重慶か宜昌、または武漢を起点にし、奉節、巫山、巴東、秭帰（しき）、宜昌などの市県、全長約200㎞をカバーしている。

瞿塘峡

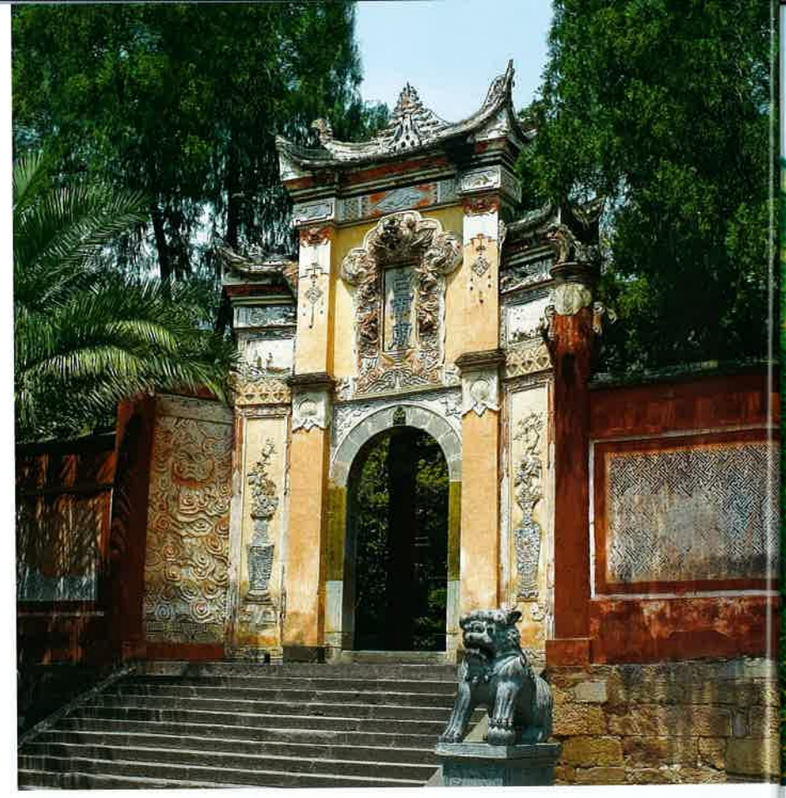
重慶の朝天門埠頭から遊覧船に乗って東へ向かい、豊都鬼城、忠県石宝寨、雲陽張飛廟などの名勝を経ると、瞿塘峡（夔峡ともいう）にさしかかる。長江山水画廊の最大の見せ場である。

瞿塘峡は長江三峡の西の区間にあり、西は重慶市奉節県の白帝城から東は重慶市巫山県の大渓鎮まで。この区間は峡谷の「雄」を以って知られ、長さ約8㎞で、長江三峡ではもっとも短い。水面の幅は100 m足らず、両岸の断崖絶壁は刀で切り裂いたようであり、雲のかなたの空は高く、水流は急で波が高く、山勢は峻嶮である。峡口の夔門（きもん）は長江三峡の西口にあたり、瞿塘峡の雄渾さを如実に示している。夔門の両側にそそり立つ高い山は、南のを「白塩山」、北のを「赤甲山」といい、前者は山の色が白い塩に似ているところから、後者は山の岩が赤く人が背中を露出したようにみえるところから名がついた。白と赤の両山が川を隔てて向かいあい、競いあっている。「赤甲晴暉」と「白塩曙色」は瞿塘峡の魅惑的な光景になっている。

「峡が短く景が多い」のが瞿塘峡の特色で、夔門、粉壁墻、風箱峡、犀牛望月などの奇景を次々に見ることができる。奉節観光埠頭で上陸すれば、白帝城、東西碑林、観星亭、劉備託孤堂、赤甲楼、古砲台、鉄鎖観、夔門古象館などの名所旧跡を見物することもできる。

粉壁墻

瞿塘峡



白帝城

地縫（溝状の裂け目）

白帝城

もとの名を紫陽城といい、奉節県草堂区白帝郷にあり、瞿塘峡口北岸にそびえ立ち、重慶市街区から 451 km離れている。後漢の建武元年（25 年）、公孫述が四川を割拠し、ここのある井戸からつねに白い煙霧が立ちのぼって、まるで白い竜が天に昇る姿のようだったので、みずからを白帝と称し、紫陽城を白帝城と改称した。

いまある白帝城は四面を長江の流れに囲まれており（もし水位が 143 m以下なら、3 面が水に囲まれていた以前の姿になる）、要害の地である。城は古色蒼然とし、赤塗りの壁と反り上がった屋根のひさしが青葉に見え隠れし、優雅で閑静である。古城に登ると川面が見渡せ、朝焼け夕焼けの景色は雄大である。ここからの夔門の見晴らしはすばらしく、「夔門は天下の雄」を実感させられる。城中の白帝廟は南向きに建ち、祭祀の場所で、明良殿、託孤堂、武侯祠、東碑林、西碑林、観星亭などの観光スポットがある。

交通：奉節観光埠頭で上陸し、船を乗り換えて白帝城に行く。

劉備託孤（劉備が息子を諸葛孔明に託す名場面）

白帝城碑林

白帝廟

白帝城の中にあり、もともとは白帝公孫述の廟宇であったが、のちに劉備が遺児を託した場所として有名になった。222 年、劉備（161—223 年）が東呉を討伐しようとして夷陵（いまの宜昌）の戦いで敗れ、白帝城に逃げ込んだが、病気になり臨終に丞相の諸葛亮孔明に遺児を託した。白帝廟の正面ホールには「劉備託孤」の故事を再現した等身大 21 人物の大型彩色泥塑が展示されており、明良殿、観星亭など明・清代の建築物も建っている。また瞿塘峡の絶壁に吊り下げるように置かれた懸棺から見つかった文物や隋唐以来の書画碑刻 73 点、歴代文物 1000 余点、古今名書画家の作品 100 余幅も陳列されている。なかでも「竹葉字碑」は詩と画が一体になって独特の風格があり、「三王碑」は鳳凰、牡丹、桐梧を彫刻した絶品である。

天坑地縫

奉節県城南岸 38 kmにある。石灰岩の地面が雨水によって浸食されてできた鍾乳洞、窪地、天生橋、落水洞、盲谷（もうこく）、漏斗（ドリーネ）、縦井戸などの各種のカルスト地形がそろい、カルスト地形の天然博物館である。天坑（天が開けた穴の意で、深い陥没地）は直径 626 m、深さ 662 mで、その深さと容積において世界の同類のカルスト地形溶岩漏斗のトップであり、「天下第一坑」の名に恥じない。地縫（溝状の裂け目）は高山の草地に発し、多くの峡谷からなり、全長が 37 kmにも及び、V字型を呈し、その末端は天坑から 5 km足らずである。

ここは探検家を魅了するパラダイスである。長い間、内外の探検家と地質洞窟研究者は天坑と地縫の間には神秘の通路があってつながっている、と信じており、その発見のために何度もここを訪れている。

交通：朝天門埠頭から遊覧船（所要 20 時間）、または水中翼船（8 時間）に乗って奉節観光埠頭または宮逆埠頭まで行き、それから風景区へのバスに乗り換える。

天坑

赤甲楼

長江北岸の赤甲山にあり、赤甲山の名からついた。楼は3層の木構造で、赤い柱に黄色い瓦、斗拱（屋根や斗組・軒などを支える木の組み物）に屋根の反り上がったひさし。切り立った崖の上に建ち、緑樹におおわれ見事である。赤甲楼の扁額は有名な書道家・沈鵬（1931年―）が書いたもので、楼の内外にある歴代名人のうたった三峡の詩文は有名な書道家・陳復澄（1943年―）が刻制したもので芸術性が高い。

赤甲楼の前の平たい台はかつての砲台の跡で、いまは2門の古い大砲が据えられ夔門（きもん）に向けられている。「一夫関に当たれば、万夫も開くなし」の気勢を示している。

関連情報： 赤甲楼から三峡の始まりである瞿塘峡の入り口、夔門を見下ろすことができ、眺めは実に素晴らしい。桟道の遺構をつたって赤甲楼の下まで行くこともできる。

鉄鎖関

草堂河が長江に注ぎ込む場所にあって、大きな石盤の上に高さ約2mの2本の錆びた鉄柱が立っているのが「鉄鎖関」の旧跡である。ここは歴代の兵家が夔門の天嶮を守り、江上の交通を規制するために鉄鎖を縛りつけて設けた関所であった。もっとも古い記録では唐代の天佑元年（904年）まで遡ることができる。現存する鉄柱は宋代末年に設けられたもので、鉄柱のそばの岩石には元代の題刻も残っている。

巫峡

船が瞿塘峡を過ぎ、25kmの大寧河の河口から「幽深秀麗」と形容される巫峡に入っていく。巫峡の名は巫山からきており、長江三峡のなかでもっとも景色の美しい峡谷である。西は巫山県の大寧河口から東は湖北省の巴東県官渡口まで全長45km。両岸には美しい山々が立ち並び、霧がぼうぼうと立ちこめていて、山水画のようなおもむきのある景色が、次々とあらわれては消える。唐代の詩人は「巫山雲雨」を絶賛して、「かつて滄海を経たれば、水難（かた）しと為さず。巫山を除却すれば、これ雲ならず」（今までに大海を渡った経験のある者にとっては、川はたいしたものではない。巫山の雲雨を除けば、他の所のものは雲というほどのものではない）と謳っている。

巫峡の両岸は巫山十二峰である。江北は西から東へと登竜・聖泉・朝雲・神女・松翰・集仙の6峰。江南は浄壇・起雲・飛鳳および上昇3峰（この3峰は長江支流の青溪からしか見えない）。十二峰では神女峰がもっとも美しく、もっとも有名である。

大寧河口の「寧河晩渡」と神女峰に代表される十二峰のほかにも、巴東神農渓、大寧河小三峡、巫峡五渓などの景観もある。

巫峡十二峰

巫峡の南北にそそり立ち、すべてが石灰岩からなり、江面から高さ1000m余り。両岸に次々に姿を現し、鳳のように翼をひろげた峰、衝立の屏風のような峰など姿かたちはまちまちである。江北の6峰は集仙峰、松樹峰、神女峰、朝雲峰、聖泉峰、登竜峰。集仙峰の頂上には巨石が林立し、中秋の夜になると仙女たちが頂上に集まってくるという伝説があって、そのため「集仙峰」の名がある。また山頂には2つの小さな峰があって開いた大きな剪みが酷似しているので剪刀峰ともいう。江南の6峰は翠屏峰、聚鶴峰、

巫峡剪刀峰

巫峡

神女峰

上昇峰、飛鳳峰、起雲峰、浄壇峰。以前は乗船して巫峡を通るとき飛鳳、翠屏、聚鶴の３峰しか見えなかったが、いまは水位が高くなったため、船で長江支流の神女渓を15kmさかのぼれば浄壇、起雲、上昇の３峰も見られるようになった。巫峡12峰は群峰が競うようにそそり立ち、雲が沸きたつと山が見え隠れして魅力は尽きない。

神女峰

巫峡12峰のうち特に有名なのが神女峰である。船が峰の前に行き峰頂を仰ぎ見ると、突き立った石柱が裾を翻して蒼穹に飛び立つ仙女さながらに見えることから「神女峰」の名がついた。むかしむかし、西王母の末娘の瑶姫が悪竜を退治し、大禹を助けて三峡を切り開いて江道をさらい、船の航行の平安を守ったが、この地を去りがたく化身となって神女峰になったという古い言い伝えが、神女峰に神秘的な色合いを添えている。

大寧河小三峡

国家AAAAA級景区で、長江三峡の第一の大きな支流である大寧河の巫峡区間にある竜門峡、巴霧峡、滴翠峡の総称。全長50km。水は紺碧の色、奇峰がそびえ立ち、竹と木がうっそうと茂り、ときおりサルの鳴き声が聞こえ、

江辺紅葉

オシドリや水鳥が水浴びしている。ここも得がたい動物天国である。野趣にあふれた天然の美の画廊である。絶壁の裂け目にある懸棺、古い桟道、大昌古城など歴史遺跡もある。

交通：船が巫峡に着いてから、小型の船に乗り換えて行く。

関連情報：小三峡では岸に上がって色とりどりの玉石、縞模様のある三峡石をさがすことができる。

小小三峡

国家AAAAA級景区で、三撐峡、長灘峡、鴇王峡の総称である。滴翠峡東岸の寧河支流の馬渡河にある。大寧河小三峡とくらべ、ここの山はもっと高く、峡谷はもっと狭く、洞はもっと薄暗く、景色でも勝る。狭く高い絶壁の間を縫うように通る船は、瀑布の水しぶきがかかる。ここはレジャースポーツの急流下り（ラフティング、漂流）にも格好の場所で、四季を通じて水はきれいに澄んでいる。

交通：巫峡に入ったあと小さな船に乗り換える。

巫峡「五渓」

巫峡には渓流も多く、三峡ダムの水利工事が完成して水位が上昇したため、小さな渓流にも船で行けるようになった。なかで推奨に値するのは、次の「五渓」、すなわち神女渓、沙木壌渓、辺域渓、小渓河、鏈子渓で、三峡とは別種の趣きをもっている。これらの渓流では露出した岩がほとんど見られず、水は澄み切って緑の植生がその中に映り込んで、見ていてうっとりさせられる。

小三峡七女潭

神女渓

神女峰の麓にあって青石鎮と飛鳳峰の間の小さな渓流で、７人の仙女が水浴びしていたという言い伝えが残っている。渓流は15kmあり、うち10kmは人跡未踏の原始的な秘境で、手つかずの自然を見られる。断崖絶壁は険しく、峰々が陽光を遮って下まで届かず、霧気がたちこめ、両岸は緑がうっそうと

神農渓の船を曳く人夫

西陵峡

茂って桃源郷さながらの趣きがある。きりたった崖の中腹に置かれた懸棺（船形棺）や七女潭などの景観がある。

交通：船で神女峰まで行ってからモーターボートに乗り換える。

神農渓

またの名を沿渡河ともいい、巴東県城の北岸にある。巫峡を出て香渓寛谷に入ってから最初の支流で、湖北省神農架森林の主峰の南斜面に源を発し、渓口から上流へ20km遡って、順に竜昌峡・鸛鵝峡・綿竹峡で、「神農三峡」ともいわれる。原始、古朴の姿をとどめ、汚染されていない。水がきれいで底まで透けて見え、彩石にまだら模様がついている。エンドウ豆のサヤに似た豌豆舟と呼ばれる小舟が水面に浮かび、岸から綱で船を曳いて流れを遡る人夫たちの掛け声が谷間にこだまする。

神農渓の山紫水明の風景は人々を清新で爽快な気持ちにさせる。絶壁に吊り下がった懸棺は謎の多い巴人（古代、四川東部の住人）の埋葬風俗である。岸から綱で船を曳いて流れを遡る人夫たちの掛け声が聞こえるほか、熱情あふれるトウチャ族の巴山踊りショーがある。神農渓は新三峡の民間の風俗は純朴で、生活雰囲気が濃厚で、絵のような景勝地となっている。

交通：船で巫峡に着いてから小さい船に乗り換える。

ウェブサイト：http://www.badongtour.com

西陵峡

船が巫峡を過ぎると三峡でもっとも長くて険しい西陵峡に入っていく。西は市秭帰県香渓から東は宜昌市南津関まで、全長約76kmである。天才詩人・屈原（およそ前339—278年）と古代4大美女のひとり王昭君（およそ前52—19年）がここで生まれた。西陵峡は東と西の区間に分かれ、中間は廟南寛谷で、有名な長江三峡ダムもここにある。西区間には兵書宝剣峡、牛肝馬肺峡、崆嶺峡（前の2つは水没した）、東区間には灯影峡、黄猇峡がある。

「西陵の山水は天下の佳たり」といわれ、西陵峡はかつて「険」と「奇」で聞こえた。浅瀬が多く流れが急で、浅瀬は怒涛が逆巻く流れを生み、航行が危うかったが、のちに何度も航路の整備が進み安全が確保された。また奇石、奇峡、奇景、奇人や伝奇物語が多く、灯影石、仙人橋、「人文の始祖」を祀った嫘祖廟、王昭君の郷里桃花村などがある。

西陵峡は長江下流平原のふちにあり、このため古今多くの文明がたえず入ってきて歴史人文景観と史跡をもたらした。黄陵廟、三遊洞、屈原故里、昭君故里などがそれである。

秭帰新城茅坪鎮

秭帰新県城

秭帰（しき）はもとの名を帰州といい、歴史が古く、中国楚文化の発祥地である。いまは湖北省宜昌市に属している。憂国の詩人・屈原と古代4大美女のひとり王昭君の生まれ故郷でもある。

秭帰の新しい県城は廟南寛谷の中ほどにあり、三峡ダムからわずか1kmの距離にある茅坪鎮が移住民の町になっている。空には電線が見えず、地面には土が露出しておらず、建物に囲い塀がなく、汚水が外部に排出されてなく、街並みの配置も合理的にできている。三峡ダム地区ではもっとも特色のある移民町、港町で、「中国居住環境模範賞」をとった最初の県クラスの町でもある。大きな通りはどれも屈原にまつわる名がついていて、屈原文化を前面に押し出している。

三峡ダム工事で秭帰の新県城の鳳凰山、木魚島は湖に浮かぶ半島と孤島になった。鳳凰山に建てられた栖鳳亭からは三峡ダムの巨大建造物と峡谷にできた湖面を眺望することができる。木魚島には木魚観が移築復元され、屈原の作品に出てくる水神を祀っている。ここは三峡ダムの雄姿、高峡平湖（ダム湖）の風光、屈原郷里の風情、移民町が一体になった観光都市、観光客集散地になっている。

交通：遊覧船に乗って秭帰港で下船し、バスなどに乗り換えて風景区に行く。

廟南寛谷

船が西陵峡にさしかかるとやや幅広い廟南寛谷に入る。長江三峡で唯一の峡中寛谷で、それが西陵峡を東区間と西区間に分けている。廟南寛谷は西の秭帰県の廟河から東の宜昌夷陵区の南沱まで全長34kmで、大寧河と香溪の河谷と合わせた3大寛谷の一つである。廟南寛谷は長江三峡でもっともひらけた区間でもあり、川幅は500—1000mもある。

秭帰の新県城と三斗坪、太平溪、楽天溪の3つの新しい鎮はいずれも廟南寛谷にあり、泗溪、鳳凰山、黄陵廟などがある。

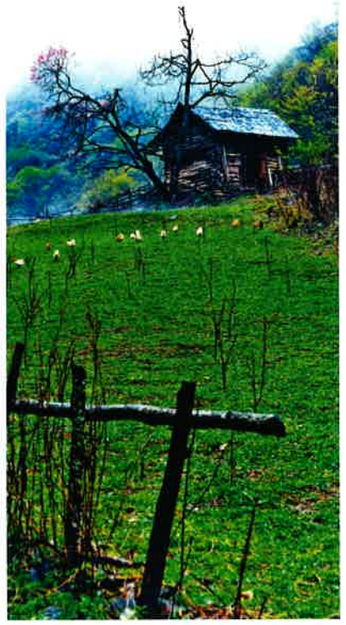
帰州街

秭帰の新しい県城にあり、昔にならった園林設計を採用して楚漢の風格を踏襲し、古色ゆかしい。全体を帰州旧城の配置にしたがって城門を造り、民家を建て、山斜面を生かしている。丹陽路と滨湖路にそれぞれ瞻葵門、迎和門が建てられ、帰州街のランドマーク建築になっている。広場に黒い石板を敷き、道沿いに青銅の台座のついた塑像、屈子九歌図のレリーフ（浮彫り）、三峡奇石の磨盤、観泉、小舞台、石灯籠などを配して、文化ムードを醸している。環境緑化にはモクセイ、サイカチ、ザボン、ザクロなどを植えて地方色を出している。また秭帰花かご、采蓮船などの民間演芸の出し物が町中に繰り出す。

交通：遊覧船に乗って秭帰港で下船し、バスなどに乗り換えて行く。

神農架国家自然保護区

湖北省巴東県・興県・房県の3県の境界にある。言い伝えでは、上古の神農氏がここに足場（架）を設けて、山中の薬草を採集し、つぶさに薬効を吟味して民のやまいを治したという。それで「神農架」という地名がついた。その山脈は西南から東北へと伸び、主峰の「神農頂」は標高3105mあって



神農架の人家

神農架の雲海

華中の最高峰である。高低差が大きく、神農架の独特で多様な地理景観を生みだした。山中は林が密で谷が深く、原始の姿が完全に保たれている。動植物資源も豊富で、絶滅危惧品種も多く見られ、「緑の園」、「動物の楽土」、「薬物の宝庫」と呼ばれている。1990年に国連ユネスコ（教育科学文化機関）によって国際「人と生物圏計画」リストに組み込まれ、1995年には世界自然保護基金により「生物多様性保護モデル地区」に指定された。神農架には板壁岩、大九湖、天門垭、燕子垭、宋洛河など10数か所の風景名勝や冷熱洞、氷洞、潮水洞などの自然景観もある。「野人」がいるという目撃情報、奇異な白化動物、行く先の分からない川など謎も多い。

餌づけに成功したキンシコウ（金絲猴）は観光客にも触れあう機会を与え、国内外の科学考察者と観光客を引きつけている。2005年にオープンしたスキー場も人気を呼んでいる。

交通：秭帰県山峡頭で下船し、車に乗り換えて約2時間で神農架に着く。帰りも神農架から車で船に戻る。

ウェブサイト：http://www.snjbhq.com

屈原塑像

鳳凰山屈原文化村

鳳凰山は秭帰新県城のもっとも東部にあり、三峡ダムとは1kmの距離で、山頂からは三峡ダムとダム湖が一望できる。文化村は屈原記念館、祠廟区、民居区、広場区、自然山林区の5つのエリアに分かれ、峡江文物24ヵ所を復元している。ここでは屈原にゆかりのある風物、水神を祀る中国4大涜廟の一つである江涜廟、清離の古民居、家族祠廟などを見ることができる。人間と自然、歴史と現実を融け合う景観である。端午の節句になると鳳凰山の麓では、地元の人々が竜舟競渡（ドラゴンボートレース）をして屈原をしのぶ。

交通：遊覧船に乗ってから秭帰港で下船し、文化村行きのバスに乗り換える。

屈原祠一角

屈原祠

いまは新しい県城・茅坪鎮の鳳凰山にある。祠は山門、屈原青銅像、東西碑廊、屈原記念館、屈原墓からなる。屈原祠は屋根のひさしが反り上がり、緑色の瓦で、青葉に映えている。山門は数10段の階段の上にあり、力強い大きな字で「屈原祠」、左右の額坊にそれぞれ「孤忠」、「流芳」、大門の上方にある扁額に「月日争光」と書かれている。山門と東西の廊屋で「山」の字型をつくり、広壮である。高さ3.92mもある屈原青銅像は崇敬の念を覚えさせずにはおかない。像の両側に東西碑廊があって、屈原「離騒」など著名な詩編や歴代文人による賛美の詩句が彫られている。記念館は主として生涯の事績と文物な

屈原祠

どが陳列されている。屈原の墓は衣冠塚で、天下第一棺といわれる紅木（マホガニー）の吊棺が安置されている。

交通：秭帰港で下船し、観光バスで行く。

関連情報：屈原の名は平、紀元前340年に秭帰県秭平里に生まれた中国最初の偉大な愛国詩人。「離騒」、「九章」、「九歌」などの詩編を残し、内外に知られている。1953年、国連ユネスコによって世界文化名人に列せられた。いまでは端午の節句（旧暦5月5日）になると、ドラゴンボート（竜舟）レースが催され、人々は「ちまき」を食べて屈原をしのんでいる。秭帰県では1年に1度、盛大に竜船競渡が催されている。

昭君塑像

昭君故里

興山県宝坪村にあり、漢代の明妃・王昭君の郷里であることから昭君村とも呼ばれている。村には「昭君宅」、「望月楼」、「化粧台」などの遺跡があり、昭君陳列館が設立されている。

泗渓

江流廟

北宋（960—1127年）年間に建てられた長江の水神を祀る廟で、中国4大（長江・黄河・淮河・済水）流廟で唯一残っている流廟である。清代の同治4年（1865年）に修復され、いまある木材、石材はすべて清代のもの。もっとも特色があるのは木刻で、百獣の王である虎の頭は厄除け、雄鶏は天地天命に通じて吉祥をあらわし、蝙蝠は「蝠」の発音が「富」に通じて富貴への願いをあらわしている。

交通：秭帰港で下船し、車をチャーターする。

泗渓生態観光区

「三峡天然酸素バー」、「華中第一竹苑」といわれている。長江南岸の秭帰新県城と三峡ダムから12㎞離れ、景区の総面積は20平方㎞。大渓、小渓、巴蕉渓、順陽渓の4本からなるので「泗渓」という。ここは山紫水明で空気が新鮮であり、「三峡地域の天然酸素バー」と称されている。茂っている200種余りの竹には希少種も少なくない。また竹林に囲まれた竹海海水浴場で竹筏遊び、竹楼で農家茶、トゥチャ族村で歌舞を楽しむことができる。

泗渓景区には玉兎峰、夫婦岩、回音壁などの山水景観もある。3吊水高山瀑布は相対落差が389mもあり、流れが5段に分かれてしぶきをあげて崖下の滝壺に落下しており、最近発見されたものでは落差が最大である。

交通：秭帰港で下船し、景区行きの大型観光バスに乗り換える。

黄陵廟

三峡ダムから遠くない廟南寛谷の、黄牛峡南岸の黄牛山の麓にある。黄陵廟は川べりに建つ赤壁黄瓦のきらびやかな古建築で、もとの名を黄牛祠、黄牛廟といった。宋代の文学者・欧陽修（1007—1072）が夷陵（いまの宜昌）の県令であったときに「黄牛廟」を「黄陵廟」の名に改めた。

建立された初期は焼香客で大いに賑わったが、たびたび戦火に遭い、そのたびに再建されてきたが、いまは明代の万暦46年（1618年）に修復された禹王殿、諸葛亮（孔明）を祀る武侯祠しか残っていない。

禹王殿は壮麗な建物で、斗拱が組まれて軒（のき）は高く反り上がり、瓦屋根の獣をかたどった棟飾りがつき、36本の大きなクスノキの立柱で支えられている。殿の前側に木製の扁額が掛かっているが、うち一つは清代の慈禧太后（西太后）が書いた「砥定江瀾」、もう一つの方は恵王の署名がある「玄功万古」である。殿外に立つ石碑「黄牛廟記」は諸葛亮が書いたものと言われている。

交通：黄陵廟観光埠頭で下船する。

黄陵廟

九畹渓

長江の西陵峡の西区間にある牛肝馬肺峡の南岸にあり、秭帰新県城と三峡ダムから20㎞離れている。42.3㎞のこの渓流は澄みきっていて、両岸の山はそそり立っている。

九畹渓は愛国詩人・屈原がここで講義をし、身を修めたところなので、天神簡、巨魚坊、霊芝岩など屈原にまつわる人文景観が少なくない。ラ

九畹渓

フティング（激流下り）も体験できる。13.2 kmに及ぶコースは落差が 90 m、川瀬が 20 か所余りあって刺激的である。ゴムボートの揺れに身をゆだねて漂流し、野鳥のさえずり、猿の鳴き声を聞きながら両岸の風光をながめるリラックスした時間もある。

南津関

西陵峡口の風景区にあり、三峡の東の玄関口である。絶壁がそそり立ち、水路は狭まって地勢が険しい。南津関は長江中下流との境界でもある。南津関を過ぎて東へ向かうと、江面は幅 300 mから 2000 m余りに広がる。絵巻のような美景は人々を見ててうっとりさせられている。

三峡人家風景区

国家ＡＡＡＡ景区で、三峡ダムと葛洲壩との間にあり、灯影峡の両岸にまたがっている。竜進渓、天下第四泉、野坡嶺、灯影洞、抗戦記念館、石牌古鎮、楊家溪ラフティングなどの風景区からなり、「湾は急、石は奇、谷は幽、洞は絶、泉は甘」と称えられている。観光の見どころは１つの館（抗戦記念館）、２つのオプショナル・ツアー（三峡人家風情、楊家渓軍事ラフティング）、３つの第一（三峡第一湾の明月湾、中華第一神牌の石令牌、長江第一石の灯影石）、天下第四泉の蛤蟆泉。三峡人家のたたずまいを見るオプショナルは、水上人家、渓辺人家、山上人家、今日人家に分けられる。

交通：三峡人家観光埠頭で下船する。

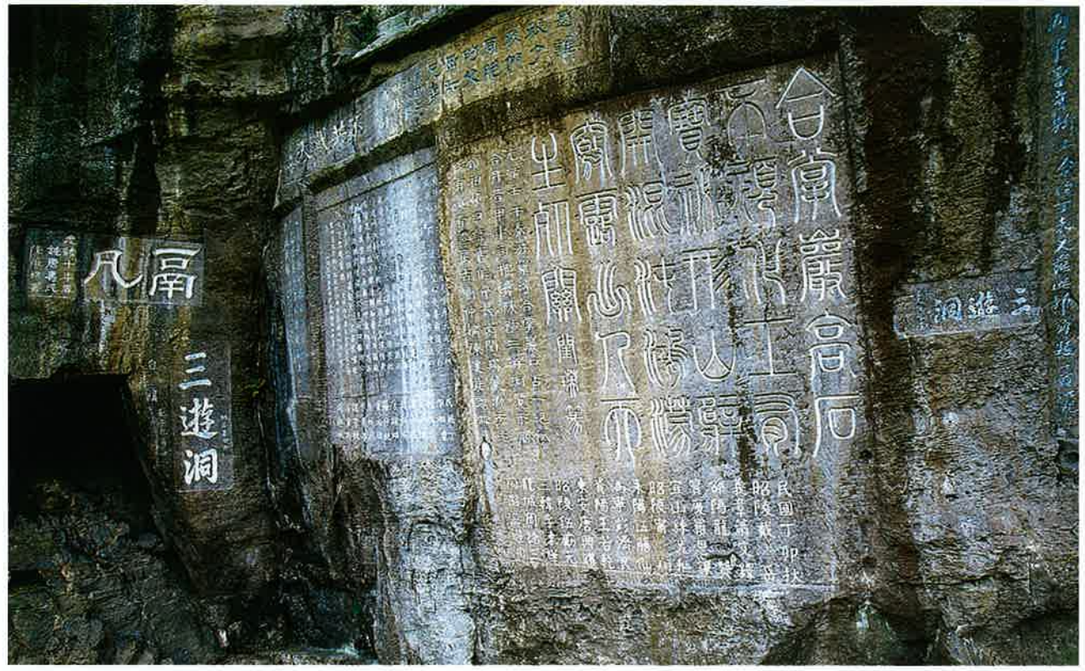
三峡人家風景区

三峡人家

灯影峡

南津関から西へ約10kmに灯影峡がある。明月峡ともいう。長くはない峡谷であるが、磨き上げたようにすっきりした峡壁で、晴朗の天空をバックにして一幅の水墨画のように見える。夜になって月が西方に懸ると、山光水色が映し出す「浄界」はえも言われず、それゆえ「明月峡」の名がついた。一方、灯影峡の名は南岸の山の上に見える4つの岩石が、『西遊記』に登場する唐僧ら子弟4人が西天へ経典を求めて道をたどっている姿に似ていると考えたことからきている。「皮影戯」（影絵芝居）が地元では「灯影戯」とよばれているため灯影峡になった。

灯影峡



三遊洞

仙人橋

船が灯影峡を過ぎて西へ向かうと間もなく、川の北側に長さ15m、幅1m余りの天然石橋が見える。これが仙人橋である。この橋に立てば西陵峡の大半の景色が視界に入る。

三遊洞

国家AAAA級景区で、宜昌市峡口風景区の西陵峡東口北岸の西陵山にある。

言い伝えでは、唐代の元和14年（819年）、詩人の白居易（772—846年）と弟が宜昌で思いがけず詩人・元稹（779—831年）に出会い、いっしょに三遊洞を訪れ、それぞれ詩1首を詠い、白居易が『三遊洞序』を石壁に書き記した。その100年余り後に、こんどは蘇洵（1009—1066年）、蘇軾（1037—1101年）、蘇轍（1039—1112年）の父子3人が、科挙の試験を受けに四川から都の開封へ出かけたとき宜昌にたち寄り、この洞にやって来てそれぞれ詩1首を作ったことから「三遊洞」の名がついた。前者を前三遊、後者を後三遊といって区別している。いまでも洞内には明代に刻された白居易『三遊洞序』碑など多くの石刻が残っている。三遊洞は洞前に高い峡谷に挟まれ、澄み切った下牢渓が洞をめぐって長江につながり、半島状になっていて三峡の西口にある白帝城と地理的な状況が似ている。西陵山に登ると、長江の上流が中流に変わる南津関の景色の違いがわかり、壮麗な葛洲壩のダム湖が眺望できる。

交通：新世紀国旅埠頭で下船し、500mほど歩く。

三峡ダム観光区

最初にリスト入りした国家AAAAA級景区の一つで、西陵峡の中ほどにある。雄大な自然景観と史上空前の人文景観が一体になり、「巫山雲雨を断ち切り、峡谷に湖を出現させる」壮麗な情景が眼前に広がっている。世界最大の水利工事である三峡ダムの全体像がつかめ、壇子嶺園区、截流（せき止め）記念園、185園区が常時開放の園区で、これらはダム堰堤上部を通り抜けて巡る遊覧参観コースになっている。

壇子嶺園区

壇子嶺園区

壇子嶺は三峡ダム区の要害の高地で、その山形が四川の漬物「泡菜」を漬ける「壇子」（つぼ、かめ）によく似ているところから名がついた。標高262.48m。ここから三峡ダムとダム区の全貌がわかる。園区全体は上から下へと３層で、模型展示ホール、万年江底石、大江截流石、三峡ダム址基石、銀板天書、壇子嶺景観台、噴水、瀑布、渓流、草場などがある。

截流記念園

三峡ダムの右岸にあり、敷地面積９万平米。工事遺跡の展示や情景描写、史料などによって長江せき止めの状況を紹介し、精彩を放つ大型生態情景劇『盛世峡江』の公演で巨大ダム建設の感動的な物語を再現している。

関連情報：『盛世峡江』のあらすじ

長江三峡旅游公司が巨費を投じて制作した『盛世峡江』は、これまでに500回以上も公演されている。公演時間90分に、三峡地域の文化、水利事業、水利・電力技術を多角的に描写していて、三峡ダム観光区を見る者に大いに参考になる。このショーの主な見どころは－

1．むかしの長江三峡の雄元、悠久の響きをもつ船乗りの掛け声、ダム景観の躍動する過程、濃厚な民族文化などを見ることによって、三峡文化の理解が深められる。

最高水位に達した洪水が三峡ダムを通過した

截流記念園

截流園水系

2．『盛世峡江』は情景が鮮明で、物語構成も緊密、写出手法も斬新である。三峡地域で最大のLEDスクリーンを使うことによって、流れの模様を表し出し、観客に背後の事情を分からせ、雰囲気を盛り上げている。

3．『盛世峡江』は①プロローグ、②長江・峡谷、③百年・追夢、④天軍・奇観、⑤盛世・峡江、⑥エピローグで構成されている。舞台装置「秋一口」、民謡「五句子歌」を折り込むことで、三峡のローカル色を際立たせている。

4．スリリングな格技と華麗な舞台美術効果が駆け付けて、公演をいっそう精彩あるものにしている。

185 観景区

ダムの頂上部と同じ高さで標高 185 mであることからこの名がある。ダムはここから江南へと伸びて長江を遮断している。展望台に立つと三峡ダム堰堤に立っているようで、ダムの高さを実感できる。またいまの水位 135 mのダム湖の感覚がわかる。上流の隔流堤、３期工事上流コンクリート囲堰は工事の進展に伴って水没する。全工事が竣工すると、標高 175 mのダム湖の景観を除いて、ここは船を通すための船閘と船のエレベータであるシップロックを参観するにも格好の場所である。

交通：黄陵廟埠頭または三斗坪埠頭で下船し、専用バスで風景区に行く。

関連情報：1．六間首の観光客接待センターは三峡ダム双方向５段閘門の下流南首付近にある。ここから双方向５段閘門の雄大な姿が見られるだけでなく、ダム観光客が最初に参観する場所でもある。接待センターにはダム区観光の循環バス停のほか、駐車場、レストラン、医療室、記念品売り場などサービス施設がある。

2．管理上の必要で、観景区内の観光スポットは部分的に開放しているかもしれない。詳しい情報について、公式ウェブサイトを閲覧していただく。

宜昌市

宜昌は古くは夷陵といい、湖北省西北部に位置し、長江三峡の西陵峡口にある。西は長江三峡に接し遡行すれば巴蜀に達する。東は魚や米の豊かな湖南・湖北省に連なり下れば南京・上海に達し、古くから湖北・四川省の物資集散地と交通の要衝であり、「三峡門戸」の称がある。

宜昌市は風光の美しさで「三峡の真珠」と言われており、長江三峡の中で最も長く「奇」をもって知られる西陵峡がある。古くから文化の豊かな古代の土地でもあり、世界的な詩人・屈原、中国4大美人の一人である王昭君の生まれた場所で、屈原祠、屈原故里、昭君故里、桃花村などの史跡や伝説が多くある。また歴代の文人墨客の足跡があまねく、黄陵廟、三遊洞、陸遊泉などがある。長い歴史をもち、三国古戦場の一つであり、長阪坡古遺跡、関陵、玉泉寺、虢亭古戦場などの三国遺跡がある。また宜昌は、古代の巴人で今日の土家（トゥチャ）族が暮らしている地域もあり、巴人懸棺や土家族の情緒も忘れがたい。宜昌は三峡画廊、清江画廊、三国画廊とも言うべき3つのギャラリーを構成し、長江三峡風景区、峡口風景区、古三国遺跡風景区、清江トゥチャ族風情風景区など9つの景区がある。

宜昌市の水力発電エネルギーが豊富で、長江最初のダムである葛洲壩ダムと世界の脚光を浴びている三峡ダムがその典型である。豊富な水力発電資源とその十全な開発で、いまや宜昌は中国最大の水力発電エネルギーセンターとなっており、「世界水電の都」とうたわれている。三峡ダムの貯水が満タンになってダム湖が出現した今、観光客が押し寄せている。

ウェブサイト：http://www.yctg.gov.cn

中華チョウザメ館

宜昌小溪塔鎮河心公園にあり、三峡集錦景区に接している。中華チョウザメは1.5億年前の軟骨魚と硬骨魚の間の過渡的な魚類で、生きた化石と呼ばれている。現存する16種のチョウザメで個体がもっとも大きく、分布区域がもっとも南にある。葛洲壩水力発電所の建設で回遊通路が絶たれたため絶滅が危惧されたため、中国科学院がこの研究施設を設立し、人工繁殖と放流に取り組んで成功し、宜昌に新しい産卵場をつくった。

白馬洞

宜昌市の南津関、西陵峡口に位置し、全長1900 m、洞口は山腹の崖にある。洞窟から流れ出す清流が洞の前に小さな池をつくっている。舟に乗って洞の中に入っていくと、はじめは狭いが次第に広がって、200 mほど進むと水は尽きて岸が現れる。歩いていくと洞窟はだんだん深くなる。洞の中は5層で、交錯しながら先へ伸び、天井部の鍾乳石は形が千変万化する。もっとも目をひくのは第1層上洞の尾部の険しい壁に、真っ白い巨大な鍾乳石が壁に掛って、銀色のたてがみの白馬はひずめを高くあげて奔走している姿に見える。

交通：市内の10路観光専用バスに乗る。

嫘祖廟

西陵山廟ともいい、黄帝の正妃である嫘祖（るいそ）を祀るために建てられたものが、1993年に西陵山に再建された。嫘祖は雷祖、累祖とも呼ばれ、民間の養蚕家からは「蚕母娘娘」（蚕の女神）と呼ばれて中国ではもっとも大昔のファーストレディー。美しくて賢く、養蚕や糸繰り、機織りを教え、黄帝といっしょになって部落の老若男女をとりまとめ、男は耕し女は機織りをして、ともに中華古代文明を創りあげ、後世に「先蚕」（養蚕を始めた祖）と尊ばれた。毎年旧暦3月15日の嫘祖の生誕日には、嫘祖廟で「先蚕祭り」が執り行われる。

交通：市内から直通バスが出ている。

葛洲壩

葛洲壩水利中枢工事は長江で最初の大型水利工事で、北は江北鎮鏡山から南は江南獅子包までの雄大なダムである。1970年に着工され18年かけて1988年に竣工した。長江の水利資源を総合利用するためのダムで、発電、航運、洪水防止、灌漑などに役だっている。ダム建設によって上流に向けて100 kmほど、水位が20 m高くなって巨大な人工湖ができあがり、三峡の航路を改善した。

葛洲壩

嫘祖廟

荊州市

「朝（あした）に辞す、白帝彩雲の間。千里の江陵、一日にして還る。両岸の猿聲、啼いて住まざるに、軽舟すでに過ぐ、万重（ばんちょう）の山」。唐代の詩人・李白（701—762年）の名詩で、この詩に出ている江陵が、すなわちいまの荊州である。

荊州は湖北省中南部に位置し、長江中流と漢水下流の江漢平原の奥地にある。東は武漢、西は三峡、宜昌に通じ、南は湖南に接し、北は襄陽に隣接している。沙市区、荊州区、江陵県、石首市など2区3県3市を管轄し、中国で最初に公布された24の歴史文化名城の一つである。

荊州は長い歴史と素晴らしい文化をもち、楚文化の発祥地、三国時代の主戦場でもある。そのため豊かな文化遺跡や史跡を残した。荊州城は中国南方でもっとも良く保存された古城であり、楚都の紀南城、八嶺山古墳群とともに歴史文化名城を構成している。全国10大博物館に数えられる荊州博物館は、戦国のシルク、楚の漆器、越王勾践剣、前漢のミイラなど多くの珍しい文物がある。また赤壁古戦場、烏林寨、華容古道、関羽点将台などの三国遺跡が30余か所ある。市街地にも章華寺、万寿宝塔などの多くの古代建築がある。

荊州観光ウェブサイト：http://www.jztour.gov.cn

荊州古城

荊州古城

荊州城は江陵城ともいい、春秋戦国時代・楚国の都であった。高さ8.8m、幅10mの堂々とした城壁が東西に細長い楕円状に10.5kmも張り巡らされ、城ダ4567個、砲台26台がある。城壁の外は幅10mから30mの護城河（お濠）が巡らされている。

城門は6つで、東門（寅賓門）、南門（南紀門）、西門（安瀾門）、大北門（拱極門）、小北門（遠安門）、小東門（公安門、または水門）である。城門の上にはそれぞれ城門楼がある。東門城楼（賓陽楼）、小東門（望江楼）、西門（九陽楼）、南門（曲江楼）、大北門（景竜楼）、小北門（朝宗楼）である。楼に登ると江漢平原は一望できる。

古城は2000年以上の歴史をもち。秦・漢代に城郭が建ちあがり、五代十国後に煉瓦造りになり、宋・元・明3代になんども破壊されては修復された。現存する城壁は清代の順治3年（1646年）に明代の城垣をもとにして築かれた。

万寿宝塔

天鵝洲のシフゾウ

天鵝洲湿地保護区

天鵝（ハクチョウ）洲湿地は長江の蟠曲部の旧川床が水流に押し流され真っすぐになったもので、総面積は約70平方km。ここは砂州が縦横に伸び、原始的生態、独特な地形、豊富な物種を保っている。中国の湿地生物多様性と野生動物の保護に最適な場所のひとつである。

天鵝洲湿地には麋鹿（シフゾウ）国家級自然保護区、白鱀豚（ヨウスコウカワイルカ）国家級自然保護区があり、シフゾウ、カワイルカなどの稀少物種を保護しており、古朴な砂州湿地、美しい長江故道（旧河床）、稀少鳥類の天国、野生シフゾウの楽園、絶滅に瀕するイルカ類の故郷という5つの生態特色をそなえ、「中国重要湿地リスト」に組み込まれ、「中国優秀旅游目的地」に指定されている。

問い合わせ電話：0086-716-7680333

鳳鳥虎座鼓

関帝廟

荊州博物館

荊州城西門にあり、国家AAAA級旅遊景区に指定されている。敷地4万6600m²、建築面積2万m²余り。陳列大楼、楚楽宮展演館、珍品展覧館、文物収蔵庫などからなる。収蔵文物は10万点をこえ、国家一級文物と珍しい貴重品だけでも200点にのぼる。

陳列物は楚文化を中心として、石器、陶器、青銅器、漆器、絹織物をテーマに、荊州の6000年余りの悠久な文明史が示されている。珍宝館には越王勾踐剣、保存状態の良い前漢の軟らかい男性ミイラ、戦国時代の連発弩機机、刺繍靴、麻製のスカート、竹簡や戦国時代の薄い絹織物や漆器等も残っている。楚楽宮展演館は、彩色上絵（うわえ）の石磬、青銅の編鐘、青石の排簫、双鳥の鼓、箏など楚代の楽器、楚国の宮廷音楽、舞踊を再現し、独特の魅力を備えている。

交通：市街区の14、19、21路バスで行ける。

ウェブサイト：http://www.jzbwg.com

関帝廟

荊州旧市街の南門にあった関帝廟跡にあり、敷地4500m²。関帝廟跡は関羽が荊州を鎮守した10余年の邸宅があった場所で、関羽の後代が関羽を祀った祠堂でもある。明太祖の洪武29年（1396年）に建立されてから、何度も戦火に見舞われ、歳月を経るにしたがい殿宇はほとんどなくなっていたが、1987年に再建された。もとの関廟にならって儀門、正殿が建ち、それに陳列館がある。灰色の瓦に赤い壁、絵を描いた柱に彫刻を施した梁、屋根のひさしは反り上がっていて壮麗である。殿内には450年余りの雌雄2本のイチョウの木が立っている。陳列館には重さ8.2kgの関公青竜偃月刀、長さ8m、幅1mの赤兎馬の飼い葉桶、それと玉帯という3つの宝物が飾ってある。

関帝廟

武漢市

武漢は湖北省の省都で、長江中流にあり、長江と漢江が合流し3鎮（武昌・漢口・漢陽）が三つ又に聳立する独特な地理位置を占めている。東西の黄金水路と南北の鉄道動脈が交わり、9省を結んで東西南北に貫通し、外洋に通じていて交通はきわめて便利である。それゆえ武漢は「九省通衢」（9省に通じる所）と言われてきた。

風光に恵まれ、数10の山が周囲に起伏し、100余りの湖が点在し、磨山景区と東湖景区は武漢最大の景勝地である。歴史は3500年前まで遡り、戦国時代の楚風・楚韵・楚楽など楚文化の発祥地、「三国」古戦場の集中地として歴史文化名城にも指定されている。黄鶴楼、帰元禅寺、古琴台、晴川閣など楚文化ゆかりの遺跡も少なくない。

今日の武漢は水利の便を発揮して商業貿易の往来も盛んで、現代都市として活気と活力にあふれている。江漢歩行街（歩行者天国）、漢口江灘（リバーサイド）なども新しい観光スポットである。

武漢観光公式ウェブサイト：http://www.wuhantourism.com

黄鶴楼

帰元寺

黄鶴楼

武漢市のシンボルで、国家AAAAA級旅遊景区。長江南岸の蛇山黄鶴磯の先端に位置し、湖南の岳陽楼、江西の滕王閣と並んで江南3大名楼に数えられ古くから「天下絶景」、「天下江山第一楼」と称えられてきた。歴代の文人墨客が多く訪れ、詩に詠んできた。そのため、重厚な文化的蓄積、悠久な歴史で世によく知られている。主楼は高さ51.4mで5層、どの屋根の軒（のき）も高く反り上がって雄大である。主楼のまわりには碑廊、山門などもあり、建築全体に独特な民族的風格がある。楼の各層で文人墨客の詩文や神話伝説も紹介展示されている、祝祭日の夜間はライトアップされる。

交通：市内の10、61、64、413路バスで行ける。

ウェウブサイト：http://www.cnhhl.com

帰元寺

湖北4大仏教禅寺の一つで、国家重点仏教寺院である。寺の名は「帰元性不二、方便有多門」の仏偈（仏を称える経文）から来ている。1658年に建立され、東西南北中の5院からなり、敷地面積は約2万平米。現存する殿堂楼閣は28棟で、全体の平面配置が「袈裟」状であるのが他の寺院と異なる。山門の上に「帰元禅寺」と直書されているのも全国で稀に見るもの。主な建築の大雄宝殿は清代初めに建てられたもの。蔵経閣に奉納されている白玉仏像、貝葉経、インド・ビルマ・タイ文字の経典も一見の価値がある。羅漢堂には表情豊かな金身の500体の羅漢が立ち並んでいる。

交通：市内の45、707路バスや観光専用の1路バスで行ける。

晴川閣

晴川楼ともいう。長江北岸の亀山東麓の禹公磯にあって川を隔てて黄鶴楼と向かい合っている。晴川楼は大禹の治水と漢江の浚渫を記念して明代の嘉靖年間（1522—1566年）に建立された。その名は唐代の詩人・崔灝（?—754年）の「晴川歴歴たり漢陽の樹，芳草萋萋たり鸚鵡洲」の詩句に由来する。楼閣は重檐歇山頂式（屋根が二重の入り母屋造り）で上下2層で、階上の回り廊下をめぐり、欄干とベンチを組み合わせた「美人肘かけ椅子」に腰かけて眼下に長江が望める。閣は山を背に川に面し、風景が美しく「楚国晴川第一楼」と称されている。

交通：市内の10、30、45、61路バスに乗って行ける。

ウェウブサイト：http://www.qcge.com

湖北省博物館

湖北省博物館は東湖に近く、湖北省の歴史や革命文物を収蔵、考古、研究、陳列するセンターになっている。収蔵文物は約20万点あり、なかでも曾侯乙編鐘、越王勾践青銅剣などの出土品は圧巻である。1999年に落成した編鐘館にある編鐘は、地下に2400年余り埋蔵されていたもので、進んだ国で使われている音階構造と完全に一致し、音域が広く、演奏性能も良く、いまでも各種の古今中外の名曲を奏でることができる。

交通：市内の14、411、701路バスに乗って行ける。

晴川閣

曾侯乙編鐘

磨山

東湖風景区内にあり、東湖を東・西・北の３面から囲んでいる。磨山は東西約 2200 m、南北約 500 mで、６つの山峰がある。最高峰の東峰の形が石磨（石臼）に似ているところから磨山の名がついた。楚文化をテーマとする楚城も建っていて、楚天台、楚辞軒、楚才園などの観光スポットがあり、楚文化が息づいている。

東湖

武漢市街地の内環状線と中環状線の間にあり、湖水面積は 33 平方km で杭州の西湖の６倍の広さがあって、「都市の中にある湖」としては中国最大の大きさを誇る。最初の国家重点風景名勝区の一つに指定され、1999 年に国から「全国文明風景旅遊区モデル地区」の指定を受けた。

東湖は水質がきれいで、水鳥が飛び漁り舟が行き来し、湖岸が曲折していて九十九湾の称がある。遊覧区は聴涛、磨山、落雁、白馬、珞洪、吹笛の６大景区があり、なかでも磨山楚城は海外でも評判である。聴涛区には全国で初めての寓言彫塑園があって、中国古代の寓意が深く刻画しやすい故事を表現している。行吟閣を中心にした行吟沢畔は楚国の愛国詩人・屈原を記念する特色ある建築群になっている。

交通：市内の 402、413、605、701 路バスに乗って行ける。

ウェブサイト：http://www.whdonghu.com

江灘公園

長江沿岸の漢口側リバーサイドを整備して造られた市政広場区、緑化健身区、園芸景観区からなり、埠頭文化広場、濱江広場、玻璃（ガラス）広場と歩道などがある。なかでもガラス歩道と広場に特色があり、歩道橋はすべてガラス造りで広場につながっていて、照明は池壁の青色射灯、噴水下の射灯、ガラス橋の灯火によって 8000 もの組み合わせで多彩な画面をつくり、公園の中での注目スポットになっている。

古琴台

漢陽亀山の西麓、月湖の南側にある。「伯牙台」ともいう。2000 年以上前の春秋戦国時代に、楚国に兪伯牙という琴の名手がいた。きこりの鍾子期は、伯牙が弾く琴の音色をよく理解していた。伯牙は鍾子期の死を知った時、自分の琴の音色を理解するものは居なくなったと嘆き、琴の弦を切り、２度と弾くことはなかった。奥山深く分け入って知音（知己の意）を探すという故事にちなんで建てられたのが、この古琴台である。

古琴台

東湖

江灘公園

三峡延長線の観光

岳陽市

岳陽は武漢と荊州の間にあって、長江観光コースの重要な接岸埠頭である。その管轄下の城陵磯（新港）にも三峡クルーズ客船がよく立ち寄る。ここで下船すれば「八百里洞庭」の広々とした水上風景だけでなく岳陽楼も観光できる。北宋の政治家・文人、范仲淹の「天下の憂（うれい）に先んじて憂い、天下の楽（たのしみ）に後（おく）れて楽しむ」という名句でよく知られる岳陽楼。ここに登れば岳陽の古城が一望のもとに眺められる。

岳陽は昔から湖の美しさと楼の名高さで知られてきたが、それだけにとどまらない。しばらく滞在できるなら、例えば、偉大な愛国詩人の屈原が身を投げた汨羅江（べきらこう）へも足を伸ばし、屈子祠、独醒亭、騒壇などを見てまわることをお勧めしたい。その一草一木、石碑や対聯に触れ、詩人屈原の忠潔清烈の情操に心を打たれるだろう。

厚みのある文化に包まれながら岳陽では、現代化に向けた建設も勢いよく発展している。世界竜舟（ドラゴンボート）選手権大会の開催などの都市イメージアップが功を奏して、岳陽の文化は新しい姿で世界に向き合い、内外から多くの観光客を迎えている。

岳陽楼

岳陽城西北の高い丘の城台にそびえる岳陽楼は、武漢の黄鶴楼、南昌の滕王楼と並んで江南３大名楼に数えられている。楼内には詩詞、書画、根芸（根彫り芸術）や宋・元・明・清代の岳陽楼模型が展示されており、楼のそばに三醉亭、仙梅亭、小喬墓（周瑜の妻。姉の大喬とともに「江東の二喬」と呼ばれ美人として名高い）、碑廊などの観光スポットがある。

交通：岳陽市から 2、3 路バスで直通。
問い合わせ電話：0086 730 8311676
ウェブサイト：http://www.yueyanglou.com

岳陽楼

東洞庭湖自然保護区

むかし湖北省江漢平原にあった湖沼群（雲夢沢）の一部分で、「洞庭の野」とも呼ばれ、南洞庭湖・西洞庭湖とともに洞庭湖を構成している。ここは湿地の保存に関するラムサール条約の国際重要湿地 30 ヵ所にも登録されている。毎年コウノトリ、タンチョウヅル（白鶴）、ネズミヅル（灰鶴）、シラサギ（コサギ）など 217 種類もの国レベルの保護対象になっている渡り鳥がここで越冬する。湖上に舟を浮かべ、鳥の鳴き声や波の音に耳を傾けながらの魚釣りも楽しい。

交通：岳陽市から 5、20 路バスで直通。
問い合わせ電話：0086 730 8635328
ウェブサイト：http://www.dongtingtg.org

洞庭湖

汨羅風景区

岳陽市の南部に位置し、総面積 1670 平方km。汨羅江、屈子祠、任弼時記念館、八景洞などの観光スポットに、湘陰左宗棠故居、郭嵩燾故居、湘陰文廟、岳州窯などを加えた湖南省の楚文化観光コースに人気がある。

屈子（くつし）祠

戦国時代の楚の詩人、屈原を祀った祠（ほこら）で、汨羅市から 15 kmの距離にある。建物は木と煉瓦造りで、おごそかで古風、静けさに包まれている。屈原碑林、天問壇、離騒閣、九歌台などの観光スポットがある。

屈子祠

任弼時故居

汨羅市弼時鎮にあり、旧居が任弼時記念館になっている。館内に偉大なマルクス主義者、プロレタリア革命家である任弼時の書籍、原稿、写真などの文物資料が展示されている。

交通：岳陽市からバスで直通。または岳陽市から車で汨羅市へ行き、そこでバスに乗り換え、任弼時故居に行く。
問い合わせ電話：0086 730 5750297

岳州窯遺跡博物館

岳州窯は唐代の６大名窯の１つで、岳陽市湘陰県にある。青磁が主で、民間で物を盛るための道具や食器として使われるものが多く、釉色は藍（あい）、クリーム色、茶褐色などである。2003 年、窯遺跡に岳州窯遺跡博物館が開設され、発掘された出土文物を展示している。

九江市

船が武漢を過ぎて東へ下ると、長江沿岸10大港湾都市の1つである九江に入る。九江は贛（江西）・鄂（湖北）・湘（湖南）・皖（安徽）の省境の、長江の南岸、鄱陽（はよう）湖の北岸にあり、北側に廬山があって、古くから船と車や商人が寄り集まる四通八達の大都会であった。

九江は中国最古の歴史書『尚書・禹貢』に、「九江孔殷」（長江がこの付近で諸川を集め水勢を強める）、「九江を通って東陵に至る」と記されているほど悠久な歴史をもつ文化名城である。風景が美しく名勝旧跡が多く、ユネスコの世界自然・文化遺産に登録されている廬山がある。ここで下船して観光バスに乗り換えて廬山へ向かうことができ、廬山の独特な自然風景や人文遺跡が楽しめる。九江境内には『三国志』の周瑜が水軍を訓練した煙水亭、『水滸伝』の宋江が酒に酔って謀反の詩（反詩）を吟じて追われる身となる潯陽楼、それと鄱陽湖がある。

九江観光ネット：http://www.jjta.cn

廬山風景区

廬山風景区

九江市廬山区にあり、九江市から40kmほど離れている。西周の時代、匡俗という人の兄弟7人が廬山で草庵（いおり）を結んで仙人になる修練をした、という言い伝えから名づけられた。風景が秀麗で人文遺跡が数多く、世界にも知られた観光名所になっている。廬山はユネスコ世界自然・文化遺産、国家重点風景区、国家AAAAA級旅游景区に指定され、中華10大名山の1つに数えられている。面積302平方kmの風景区に、景区12ヵ所、観光スポット37ヵ所、景物景観370ヵ所がある。山の上と山の下の2つの遊覧区に分かれ、山上は廬山牯嶺景区、山下は廬山山南景区と沙河景区である。主な観光スポットに、仙人洞、九十九盤、三叠泉、白鹿洞、天池、廬山雲海などがある。

匡（きょう）兄弟らが廬山に隠棲して修練を積んだときから、廬山は儒教・仏教文化と切っても切れない深い縁を結ぶことになった。302平方kmの風景区内には500余りの寺廟、道観が点在しており、西洋の基督教（プロテスタント）、と天主教（カトリック）の教会までもある。自然の美しい風景と儒教・仏教文化が融け合っていっそう魅力を増し、むかしから数多の文人墨客がここを訪れ、摩崖題刻400ヵ所余り、詩詞400首余りをつくって廬山をたたえた。

交通：九江市、星子県から廬山までの直通するバスがある。

問い合わせ電話：0086-792-8296380

ウェブサイト：http://www.china-lushan.com

鄱陽湖湿地公園

総面積362平方kmで、全体として一城・七区・両廊で構成されている。「一城」とは鄱陽湖文化水城、「七区」とは漢池湖水禽生息地保護・保育区、白沙洲自然湿地展示区、珠湖水源湿地保護保育区、青山湖人工湿地総合利用モデル区、鄱陽湖文化水城管理サービス区、「両廊」とは白沙洲景観堤防から長江洪水防止堤防に至るグリーン回廊、それと県城（上饒市鄱陽県）、上頭湖、青山湖、珠湖の間にあるブルー回廊をさしている。

雲居山風景区

江西省永修県の西南部に位置し、総面積216.5平方kmの国家重点風景名勝区である。参詣と行楽を合わせた山岳タイプの自然風景名勝区で、山にいつも雲が立ち込めていることから雲居山の名がついた。天成の美しい自然風景と仏教禅宗の道場として名高く、「雲嶺は江右に甲たり、名は四百洲に高し」、「冠世の絶境，天上の雲居」と称えられた。景区には蓮花城、百花谷、青石湖、泉祠坳、黄荊洞6大景区、真如禅寺、虚雲記念堂、雲門寺、円通寺、瑞田寺、桐安寺などに代表される寺院群、それから五竜潭、聡明泉、雲居山大瀑布、馬嘴水瀑布、白水大瀑布、仏手石、仙人浴盆などに代表される自然景観がある。

池州市

船は九江を離れて長江を北上し、安徽省西南部の池州境内に入る。池州は北は安慶と長江を隔てて向かい合い、南は黄山市、西南は江西省九江市と隣接し、東と東北はそれぞれ蕪湖市、銅陵市、宣城市と境を接しており、長江南岸にある重要な港湾都市で、安徽省にある両山一湖（黄山、九華山、太平湖）への観光コースである。

ここは観光資源に恵まれて自然風光と人文景観が互いに照り映え、理想的な観光・リゾート地である。中国4大仏教聖地に数えられる九華山は、国家AAAAA級旅游景区に指定されており、仏教信仰にまつわる思想や学識が広くて深い。100の寺院に僧侶と尼僧千人を擁し、仏教修行の道場として国際的にも名高い。また「第2の黄山」と呼ばれる牯牛降、「中国の鶴湖」と呼ばれるアジアの重要な湿地自然保護区－升金湖なども池州境内にある。ここは池州から下船して観光する美景である。

池州市観光局公式ウェブサイト：http://www.chztour.gov.cn

九華山

国家AAAAA級旅游景区に指定されており、池州市境内に位置する。仏教文化と自然・人文景観を特色とし、「蓮華（れんげ）の仏の国」の称がある。九華山は一つの山ではない。群峰がその美しさを競い怪石が林立し、9つの主峰が9つの蓮の花の如くで心が癒される。連なる山々はさながら寝ている大仏「睡仏」のようで、自然景観と仏教文化が見事に融け合っている。

牯牛降風景区

石台、祁門の両県の境界にあり、主峰は天から降りてきた雄（おす）ウシのように見えることで、牯牛降の名がある。風景区は主峰景区・奇峰景区・

黄山迎客松

黄山

双河口景区・竜門景区に分かれていて、厳家村、情人谷、竜門瀑、四叠飛瀑などの観光スポットがある。

黄山

国家AAAAA級旅游景区に指定され、黄山市政府のある屯溪から約69kmの距離にある。黄山のふもとに黟（きゅう）県があるので、古くは黟山とも呼ばれた。奇松・怪石・雲海・温泉を以って「黄山四絶」という。黄山の松は独特な形をし、怪石はさまざまな形ができあがった。大量の霧や雲を発生させ雲海は極めて壮観である。温泉の水質は清らかで透き通っていて入浴にも飲用にも向いている。四季折々にちがう様相を見せ、春はうっとりするほど美しく、夏はひんやりと涼しく、秋は紅葉し、冬は雪景色になる。

ウェブサイト：http://www.tourmart.cn

南京市

遊覧船が江蘇省に入ってから最初に立ち寄る港が江蘇省の省都、南京である。歴史文化名城の南京は、西暦 229 年に東呉の孫権は都を南京に置いた。以来、歴史上前後して 10 の王朝がここを都とした。千百年来、奔騰してやまぬ長江は長江文明を育むだけでなく、この南京という江南城市の発展を促した。

ここは長江が東西に流れ、特に市街地に接する紫金山（鍾山）が有名である。山紫水明の地で古跡が数多ある。明孝陵、秦淮河、夫子廟、中山陵、総統府、中華門……など、南京に身を置くと、千数百年にわたる歴史文化の長い廊下を、人々の数奇の運命や伝記的な物語に耳を傾けながら歩むことになる。また玄武湖、雨花台、鍾山などに赴いて美しい自然風景を楽しむことができる。

南京観光局林局公式ウェブサイト：http://www.njtu.gov.cn

中山陵・明孝陵

中山陵は偉大な革命先駆者である孫中山（孫文）の陵墓で、南京市東郊外の紫金山（鍾山）南麓にある。山を背に北から南へと、主要な建築が整然と並び、雄大な造りである。建築全体の平面は「警鐘」の形をしており、寓意は深い。

明孝陵は鍾山南麓の独竜阜に位置し、明太祖となった朱元璋（1328—1398 年）と皇后の合葬墓である。明代の洪武年間に建てられ、周囲 22.5 km で、規模が広大である。着工から埋葬の時まで 30 年間かかった。いまなお残っているのは碑（四方城）、神道、碑殿、享殿（孝陵殿）、方城、明楼、宝頂などの建物であるが、雄大かつ壮観である。中国に現存する最大の帝王陵墓の 1 つで、ユネスコの世界文化遺産にも登録されている。

中山陵

夫子廟秦淮河風光帯

南京市南部の内秦淮河の南北両岸にある夫子廟、学宮、貢院という 3 大建築群からなる街区は、ふつう夫子廟と総称されている。内秦淮河にもやう画舫（美しい彩燈を飾った屋形船）については、作家の俞平白、朱自清が同じ題で書いた散文『櫂の音と灯影の秦淮河』にその真実のさまが活写されている。夫子廟は中国観光地ベスト 40 に入っており、大成殿、江南貢院、李香君故居、王謝古居などの観光スポットがあり、また記念品ショップや美食街がたくさんある。

中華門

明代には雨花台の位置する聚宝山に由来し聚宝門と呼ばれた。南京古城壁にある 13 の城門のなかで最大の城門で、南京城の真南にある正門である。中華門は城門であるがその規模の巨大さから城塞に近い。配置が緻密で独特な構造をもち、3 つの瓮城（城門の外を取り囲む半円形の小城郭）があり、4 つのアーチ形の門が貫いている。城塞は 3 層で、最上層の木造の鏑楼（やぐら）は日本侵略軍の砲火で破壊された。中華門の城塞は東西の幅が 118.5 m、南北の長さが 128 m あり、27 の蔵兵洞があり、戦時には軍需物資を貯蔵したり待ち伏せする兵士を隠しておくことができた。

玄武湖

総統府

玄武湖

玄武湖は南京城の東北、鍾山の麓に位置し、南京駅の目の前に広がる。面積 472ha のうち水域が 368ha を占める。古くは「桑泊」といい、六朝時代には皇室が軍事訓練や狩猟、詩歌を吟詠する場所であったが、明代の初期に全国の戸籍簿を保存する「黄册庫」が建てられ宮廷の禁苑になった。かつて「五洲公園」に改称したことがあり、1935 年に玄武湖公園に改名され、市で最初の規模が最大の総合的公園になった。園内は 5 つの洲、「環洲烟柳」、「梁洲秋菊」、「翠洲雲樹」、「菱洲山嵐」、「桜洲花海」からなり、それぞれ特色を持つ。

雨花台風景区

南京市の中華門の南に位置し、雨花台が風景区の中核である。雨花台は松や柏に囲まれた美しい岡（高台）で、高さ約 100 m、長さは約 3.5 km もあり広々としている。3 つの部分があって、東岡は梅岡、中岡は鳳台岡とも呼ばれ、西岡は安徳門外まで伸びていて別名はない。風景区は名勝旧跡区、烈士陵園区、雨花石文化区、雨花茶文化区、観光娯楽区、生態密林区からなる。近年、雨花閣、二忠祠、木末亭、乾隆御碑亭、方孝孺墓、辛亥革命人馬塚、甘露井、曦園、怡苑、梅岡など 20 余ヵ所の名勝旧跡や楼・台・亭・閣・館を新築または修復した。

雨花台彫塑

総統府

南京市長江路にあり、1912 年 1 月 1 日、孫中山（孫文）はここで中華民国臨時大総統の就任を宣言し、中国史上最初の共和制の国家政権—中華民国臨時政府を樹立した。現在、その跡に南京中国近代史遺址博物館が建っている。博物館は敷地面積 9 万㎡で 3 つの参観エリアに分かれている。中区（中軸線）は主として国民政府、総統府及び所属機関、西区は孫中山の臨時大総統執務室、秘書処と西花園、参謀本部など、東区は主として行政院遺址、馬厩舎、東花園である。

揚州市

南京を過ぎて長江を下っていくと、かつて大いに栄えた揚州に到着する。古い歴史文化名城である揚州は、東は黄海に近く南通、塩城と接する。西は南京に通じ六合、天長と接し、南は長江を隔てて鎮江、無錫と向かい合い、北は淮河を通じて淮陰と接し、中間の京杭大運河が南北を貫く。四周は邗江(かんこう)県に囲まれ、昔から水陸交通の結節点、南北漕運の要衝であった。

「天下の明月の夜の3分の2は揚州のもの」と俗に言われるほどの景勝地で、その富も「淮左名都、天下に甲たり」と言われた。揚州は2480年余りの歴史をもつ。昔日の繁栄と隆盛がしのばれる瘦西湖や個園、何園、汪氏小苑などの名所旧跡や園林が多い。また鑑真が日本へ行く前に修行していた大明寺もある。観る価値のあるところである。

揚州観光局公式ウェブサイト：http://www.yangzhoutour.com

瘦西湖

揚州市の北郊外にある。ここの園林群は南の秀麗さと北の雄大さが一体となり、「園林の盛んなこと、天下に甲たり」と言われる。名園はほっそり痩せた西湖（瘦西湖）の両岸に中国山水画の絵巻をひもとくように繰り広げられる。主な景観に西園、御埠頭、冶春園、緑楊村、五亭橋、白塔晴雲、二十四橋などがある。

個園

全国重点文物保護単位に指定され、中国の4大名園のひとつに数えられる。揚州古城の北隅にあり、清代の江南私家園林の代表格でもある。個園で最も有名なのが「四季の築山」。石を重ね積みした築山に特徴があって、各種の石など峰ごとに違った石を用いて春夏秋冬それぞれの景色をあらわしている。姿は生き生きとして真に迫り、巧みに造られ、園林芸術上まれな出色のものである。

古運河の夜景

何園

「寄嘯山荘」とも呼ばれ、揚州市徐凝門街にあり、「清代後期第一の園」と言われる。何園は東方と西洋の建築の特色が融け合い、東と西2つの庭園に分かれている。2階建ての繋がった「串楼」と復廊（廊下の中央が壁で仕切られ通路が背中合わせになっている複式廊下）が東と西二つの庭園を住宅と一つに結んでいる。園内はごつごつした岩を使い、築山はいずれも壁沿いに置かれ、建物は山麓と池辺に配し、また地勢の高低を利用して楼閣や山亭を点在させ、山水と建物は渾然と一体になっている。町中にある山林と言われ、揚州の住宅園林の典型である。

汪氏小苑

東圏門歴史街区にある。揚州でかなり原型を留めている清末民初の塩商人の大邸宅の1つ。敷地面積3000余㎡、建築面積1600余㎡。老屋が100間（室）近くもある。住宅は横並びに3列、縦並びも主房（母屋）に3つの中庭があって奥行きが深く、前後が中軸線で貫かれ、廂房（脇屋）は左右対称で、全体の配置が整然としている。儒教の中庸の思想を表したものである。また部屋の数は奇数の組合せにしてあり、奇数は「陽」で偶数は「陰」という神秘的な風水の意識が働いている。

古運河水上観光

揚州の古運河は中国古運河の中でも最も古い区間である。流れは揚州を貫き、両岸に古跡が数多くあり、風土人情も独特で、園林景観、観光文化、経済貿易が一体になった観光区である。古運河を遊覧すると、揚州の濃厚な文化と「水上揚州」の独特な魅力を感じることができる。古運河の水上観光は定時に出発する船と団体チャーター船があり、船着き場は便益門広場と康山文化園にある。

漢広陵王墓博物館

揚州市平山堂付近にあり、陵園式の博物館である。園内に前漢の第1代の広陵王、劉胥（?—紀元前54年）と王妃の土坑木椁（もっかく）墓があり、規模の巨大さ、構造の緻密さで全国でも稀な大型の漢代墳墓のひとつで、2000年余りの歴史がある。また「興隆する漢代揚州」陳列室、「揚州第一女」劉細君特別展、それに漢代の娯楽などがある。

天寧禅寺

天寧禅寺は東晋の名宰相、謝安の邸宅を改築したものと言われており、いまは史書の記載に基づいて「万仏楼」も再建されている。仏教文化展示区に「中国仏教故事」、「仏教と揚州」、「奥深い森林」、「観世音の故事」、「禅宗の故事」、「仏画世界」、「梵唄（ぼんばい）之声」などのテーマ展示ホール、復元された方丈楼と僧房がある。

瘦西湖

何園

上海市

船の旅は江蘇省を出るといよいよ最後の都市、上海に到着する。中国の優秀観光都市、国際金融センター、航運センター、最大の経済中心都市として、上海には独特な「海派」文化と都市的な魅力がある。

2010年上海万博の開催で上海の都市イメージはいっそう高まり、「より良い都市、より良い生活」という万博テーマを見事に体現した。黄浦江両岸にまたがる上海万博会場は陸家嘴、外灘（旧称バンド）と対になって照り映え、黄浦江を中軸とする都市観光、ビジネス、ショッピングが一体となった観光圏を形成した。さらに公共活動センターと地域社会（コミュニティー）を主体にした都市環状文化観光圏と、佘山・淀山湖・崇明島を中心とした郊外リゾート観光圏も加わって、上海の「都市風光」、「都市文化」、「都市商業」をアピールした。

上海は古くから「買い物天国」の名で親しまれ、思う存分ショッピングを楽しむことができる。中華商業第一街の南京路、洗練された商業文化街の淮海路、トレンディーな徐家匯商業街、民族色の強い豫園商城、世界の有名ブランド品が目白押しの外灘と南京西路は、いずれもホットなショッピングエリアである。上海では中華グルメの地方料理はもちろん、海外の料理にもこと欠かない。さらに宿泊、交通、エンターテインメント、レジャーのどれをとっても、上海という国際都市の魅力に満ち満ちている。

上海市観光局公式ウェブサイト：http://lyw.sh.gov.cn

上海夜景ベストテン 10

上海の美しさは陽光のふりそそぐ昼間だけでなく、イルミネーションが映い夜景も魅惑的である。夜景ベストテンを挙げるとすれば、外灘地区、人民広場、南京東路歩行者天国、淮海中路、徐家匯、新天地、蘇州河畔、陸家嘴、安亭老街、静安寺である。

外灘一帯

百余年来、外灘はずっと上海のシンボルであり、上海への旅行者が必ず訪れると言われる場所である。ゴシック式、ローマ式、バロック式、中洋折衷式など様式を異にする建造物52棟が並び建ち、「万国建築博物館」とも呼ばれる。

昼はにぎわう繁華な観光名所であるが、夜は恋人たちのデート天国となり、川岸の堤防に鈴なりになった素敵な「恋愛の壁」に世界から感嘆の声があがる。ライトアップされて外灘一帯は燦然と輝きを放ち、まるで水晶宮にいるような気分に陥る。

「万国建築博物館」とも言うべき建築群はライトアップされ、外灘の観光台から眼前に見る光景はまばゆく、幻想的である。黄浦江対岸の陸家嘴金融センター見渡せば、そちらの夜景も川面に明かりが映りこんでとても綺麗である。両岸の夜景は歴史と現代の間に、時代の変遷をじっと見守り続けている。夜景と照明のもとで、すべてが意味深く感じられるのかも知れない。

上海灯光夜景

外灘

人民広場

「都市の緑の肺」人民広場は上海の政治・文化の中心、交通の中枢、観光の中心であるとともに、上海の重要なランドマークのひとつでもある。広場全体が市の中心にある園林式広場で、北は上海市人民政府所在地、西北は上海大劇院、東北は上海都市整備展示館、南は上海博物館で、人民大道がその間を貫いている。

人民広場の地下商業街は目下のところ、中国最大の地下商業センターで、地下商業街と地下商場からなる。地下鉄とも連結しており、人民広場に行けばここも欠かせない観光・ショッピング・レジャー・スポットである。

南京東路歩行者天国

カトリック教会堂

人民広場の夜景の照明はこうごうしく、温かみのある都市としてのイメージを醸し出している。上海博物館、上海都市整備展示館、上海大劇院、上海市人民政府ビルディングを重点に、特色のある大型都市広場を媒介にして、開放的、多次元、インテリジェント（知能化）、ハイセンス（高品位）という黄浦区の夜間照明の中心になっている。大都市の夜を象徴し、市民をひきつける区域的夜景でもある。

南京東路歩行者天国

上海の10大名街に数えられ名実ともに「ゴールデン街」であり、上海の都市現代化を実証している場所でもある。夜の遊歩道は人波でごったがえし、賑やかなことこの上ない。両側に林立する中国風、西洋風のビル屋上と正面は煌々とネオンがまたたき、「夜の上海」ムードが通りじゅうに横溢している。歩行者天国の中央は世紀広場。色とりどりの眩いイルミネーション、レーザーが悠久の文化を体現した「東方宝鼎」や音楽噴水を煌々と照らし、ロマンチックな風情が溢れている。

淮海中路

かつて霞飛路（ジョッフル通り）と呼ばれた。垢ぬけてしゃれた雰囲気の繁華街で、多くの人々がこの通りをパリのシャンゼリゼ大通り、ニューヨークの五番街、東京の銀座などになぞらえる。夜景が魅力的で、長々とつづく淮海中路の商業ストリートは商店の電飾が目を奪うほどで、両側のプラタナスの街路樹にも各種のイルミネーションがちりばめられ、夜になると一斉に灯って淮海路をいっそう華やかにする。

徐家匯

徐家匯（じょかかい）は上海市の西南部にあり、有名な商業中心地のひとつ。周辺には竜華寺、衡山路の欧陸風情街、宜山路の建材家具街及び地域のショッピングセンターのほか、上海天文台、徐家匯天主教堂、徐家匯蔵書楼、上海社会科学院など重要な文化施設と部門がある。夜間には、灯火があかあかと輝き、さまざまなイルミネーションの美しさを見ると目がぼうっとなるくらいである。美羅城（メトロシティ）を彩る巨大な「電飾球」はきらきら閃き、仰ぎ見る双子楼（ツインタワー）の上空の星の瞬きも人間界の「銀河」にのみ込まれそうである。港匯広場と太平洋数碼（デジタル）広場のイルミネーションもすばらしい。

新天地

「中西融合、新旧結合」を基調に、上海の独特な「石庫門」住宅の旧市街をリニューアルしたのが上海新天地。歩く・食べる・遊ぶがいっしょになった歩行者天国になっている。「オールド上海」のムードが漂い、おしゃれな街並みの夜景も魅惑的で、ファッショナブルな電飾と古風な石庫門住宅がレトロとモダンをうまく溶け合わせている。新天地のナイトライフは個性あるバーや酒場も注目ポイントである。

蘇州河畔

蘇州河は西から東へ黄浦江に流れ込み、「この都市の繁栄と往事と伝説が沈殿した」川であり、上海の最も大事な母なる河でもある。ライトアップされた美しく柔和な蘇州河の夜景は独特である。河に架かっている橋は、東から西へと上海の「昨日、今日、明日」を物語っていて、100年来の歴史と文化の長廊となっている。黄色を主調にしたイルミネーションに照らされ、歴史と文化の重厚感を際立たせている外灘（バンド）の幾つかの橋。暖色系の白を主として動態の要素を加え、橋梁の風格と景観保護区を強調している近代的な橋。橋梁の色彩を周辺環境に調和させ、商業ムードに適応している緑色の橋。最後に、青色系を主にして局部に装飾的な照明器具をとりつけ、現代化した大都会へ向かって上海を体現した現代的な橋。

新天地

陸家嘴

浦東にある陸家嘴は現在、上海で最も魅力溢れるところであり、改革開放のシンボルでもある。そこに身を置いて見上げれば、東方明珠テレビタワー、環球金融中心、金茂大厦……など高層ビル群がそそり立って壮観である。昼のここは上海の繁忙な商業・取引の場であり、ビジネスのサクセスストーリの誕生を見守っている。夜は一転灯火かがやく夜の舞台で、エリートたちの違った一面を覗かせる場でもある。旅の思い出に東方明珠の展望台に上がって、上海の夜景を存分に堪能していただきたい。

東方明珠テレビ塔

高さ 468 m、大小 11 の球体が重なり合って構成され、国家 AAAAA 級旅游景区に指定されている。高度 263 mにある観光フロアと 350 mにある空中客室は上海の風景を俯瞰する最もよい場所である。高度 267 mの回転レストランはアジアで最も高いところにあるレストランで、グルメに舌鼓をうちながら人々を陶酔させる風景を一望できる。これも忘れがたい体験である。

交通：軌道交通 2 号線で直通。

問い合わせ電話：0086-21-58791888

金茂大厦

金茂大厦・上海環球金融中心

この 2 棟の超高層ビルはいずれも浦東の陸家嘴に建ち、金茂大厦は高さ 420.5 m、地上 88 階の展望フロア（スカイラウンジ）からは上海がパノラマ状に俯瞰できる。上海環球金融センターは 2007 年 9 月 14 日に屋上部分が完成し、地上 101 階、地下 3 階で、建築主体の高さは 492 mで中国大陸世界一に躍り出た。その展望フロアも目下、中国大陸最高である。

石庫門

石庫門建築群区

19 世紀後期に現れた「石庫門」住宅は中国の伝統的な「四合院」を踏まえて生まれた、上海独特の住宅である。中国と西洋の建築様式を融合すると同時に、江南民居の様式を大量に取り入れられている。門の両側が石で、黒ずんだ分厚い戸板が取り付けられ、そこから石庫門という名がついた。石庫門建築群区は、中国共産党第 1 回全国代表大会の会場跡、それと新天地が典型である。第 1 回全国代表大会の会場跡は上下 2 階の石庫門造りの住居で、第 1 回全国代表大会の代表李漢俊の寓居であった。中国共産党第 1 回全国代表大会は 1921 年 7 月 23 日—30 日に 1 階の客間で開催された。

豫園

豫園九曲橋

豫園観光区

ここは上海の旧市街「老城廂」の発祥地で、豫園、城隍廟、上海老街などを中心とする観光風景区。九曲橋、湖心亭などが名高い。民芸品や小吃（軽食）、上海地元の文化がここで飛躍的な発展をとげた。縁日があったり市民が祝祭日を祝ったりする場でもある。

豫園はいまも完全な形で保存されている江南古典園林で、「東南名園の冠」と讃えられる。90 年代初めに大がかりな増改築が施された豫園商城は、明清代の老舗を参考にして造られた。歴史の根源を踏まえてもあると同時に、民族風格を持ち、毎年、世界各国の政府要人が数多く訪れ、観光客でにぎわい、人気の高い観光名所になっている。

交通：64、932 路バスで直通。

問い合わせ電話：0086-21-63559999（豫園）

上海城市歴史発展陳列館

東方明珠タワー内にあり、1 万㎡の展示区に上海の歴史が凝縮されている。歴史・文化・鑑賞・娯楽が一体になり、館内は華亭湖源、城廂風貌、開埠掠影、十里洋場、海上旧踪、建築博覧、車馬春秋の 7 展示ホールで構成されている。この陳列館に入ると、タイムマシンにいるようで、古き上海の生活情景を知ることができる。

交通：軌道交通 2 号線で直通。

問い合わせ電話：0086-21-58791888

楓涇古鎮・中国農民画村

佘山観光リゾート区

国家級観光リゾート区である。風景が秀麗で、国内外でよく知られる佘山聖母大殿（大聖堂）がある。この大聖堂はグレードの高さと造りの雄大さで、東南アジア第一のもので、佘山のランドマークでもある。清代の光緒24年に創建された佘山天文台は中国で最も早く建築され、規模が最も大きい天文台の1つで、天文博物館は全国科学普及教育基地となっている。竹林に覆われた西佘山東麓にある地震台は風景が美しく、前身は上海気象台で100年の歴史があり、世界最古の地震研究機構の1つである。ほかにも歓楽谷(ハッピーバレー)景区、月湖彫塑公園などがある。

楓涇古鎮・中国農民画村

上海市の西南にあり、700年以上の歴史をもつ古鎮。江南水郷の細やかさ、しなやかさ、たおやかさの特質を保ちつづけ、文化的な気風が盛んである。古鎮の主な景観としては楓涇（ふうけい）三橋、生産街廊棚（川辺などの屋根つきの街路）、程十発（画家）祖居、三百園、三橋、人民公社跡などがあり、なかでも特色のある文化レジャー観光に人気が集まっている。

楓涇鎮の金山農民画村は「中国特色村」の称がある。「丹青人家」、「楓涇人家」など5つの風景区からなる「生態休閑園」は注目を浴びている。「丹青人家」はむかし風に復元された農家と（農民画村のある）中洪村のありのままの姿を活用し、小橋、流水、水車、脱穀場などの風物も配して、農民画村の中核になっている。そこでは農民画家たちの創作から表装までのプロセスや金山農民画の佳作を見ることができる。

交通：滬朱専用バスで直通。
問い合わせ電話：0086-21-57321363（農民画院）
ウェブサイト：http://www.shfj.cn

楓涇古鎮三橋

環淀山湖観光区

淀山湖は上海最大の天然淡水湖で、面積62平方km。太湖流域に属し、上海の母なる河――黄浦江の源である。「風吹けば蘆葦（アシとヨシ）はなびき、湖上の漁舟（いさりぶね）はゆらぎ、池塘の蓮の花はほほ笑む」、気持ちのいい景色である。淀山湖の周辺には朱家角古鎮、上海大観園、東方緑舟、陳雲（1905―1995年、政治家）記念館などを含む国家AAAA級景区があり、環湖歩道、湿地公園や多くの観光レジャー村がある。

朱家角古鎮

上海市と江蘇省、浙江省の境界に位置し、俗に「角里」と呼ばれる。上海市で保存状態のもっとも良い江南歴史文化名鎮である。すでに三国時代に村落や定期市があり、明代の万暦年間には商人が集って栄える町となり、今でも明清代の市街、建物、水郷の古風で情緒豊かな風景が残っている。くねくねと曲がる石畳の細い道、狭い路地にある店舗を散策すると、小さい橋、流れる水、明清の住宅、黒い苫（とま）で屋根の葺いた小舟と、次々に目に入ってくる。岸辺のポプラやヤナギ、河に架かった石橋などはまるで淀浦河にかかる虹のようで、のどかで心がやすらぐ。

交通：観光4号線、滬朱専用バスで直通。滬青専用バスで乗り換えても行ける。
問い合わせ電話：0086-21-59240077
ウェブサイト：http://www.zhujiajiao.com

朱家角古鎮

クラシカル観光コース

長江三峡の旅（4日間）

1日目：豊都鬼城—白帝城—三峡第1峡、瞿塘峡（船中泊）

2日目：小三峡—三峡第2峡、巫峡—西陵峡—三峡ダム（船中泊）

3日目：張飛廟—石宝寨（船中泊）

4日目：重慶埠頭に帰着

烏江画廊の旅（日帰り）

コース1：世界自然遺産ツアー

重慶—武隆、芙蓉洞、芙蓉江（または天生三橋）を観光し、重慶に戻る。

コース2：南国草場ツアー

重慶—武隆、仙女山国家森林公園、天生三橋を観光し、重慶に戻る。

山水都市の旅（日帰り）

賀竜塑像前から出発—桂円—八路軍弁事処—人民広場—重慶中国三峡博物館—洪崖洞—朝天門広場—湖広会館—重慶規劃展覧館—解放碑ショッピング広場—通遠門城壁遺跡公園—賀竜塑像

緑色西陵

三峡人家

特色ある民俗祝祭日

重慶市

中国長江三峡国際観光祭

日時：4月

場所：重慶市

主な内容：開幕式、長江三峡ツアー、三峡観光景区の紹介、三峡竜舟招待試合、ラフティング競技会など。

中国重慶山水都市観光祭

日時：10月1日国慶節（建国記念日）連休期間

場所：重慶市主要市街区

主な内容：各種公演、グルメ文化展、観光景区広報、巴渝伝統民間技芸実演、灯会（灯篭祭り）。

長江三峡紅葉祭

日時：11月中旬

場所：重慶市三峡ダムエリア

主な内容：開幕式、長江三峡もみじ狩り、三峡観光風景区の紹介など。

中国大足石刻国際観光文化祭

日時：4月

場所：重慶市主要市街区、大足県

主な内容：中国石刻芸術展示。

中国重慶渝東南民俗生態観光祭

日時：10月

場所：渝東南地区

主な内容：国際竜舟招待試合、情歌会（歌垣）、観光発展フォーラム。

磁器口古鎮春節廟会（縁日）

日時：春節期間（2月前後）

場所：磁器口古鎮

主な内容：廟会（縁日）、大型公演。

金仏山氷雪祭

日時：12月—翌年2月

場所：南川金仏山

豊都鬼城

主な内容：大型灯会（灯篭祭り）、金仏山雪景、氷雪祭かがり火、ミャオ族風情観光。

豊都鬼城廟会

日時：6月

場所：豊都県

主な内容：各地の民俗ショー、廟会（縁日）イベント、豊都鬼城観光など。

巫山小三峡探険観光祭

日時：6月

場所：小三峡風景区

主な内容：小三峡ロッククライミング競技会、小小三峡ラフティングレース、七星・桂花移住民新村を参観。

塾江牡丹祭

日時：3、4月

場所：重慶市主要市街区、塾江県牡丹生態園

主な内容：牡丹祭開幕式、花見、牡丹祭商業・貿易展示即売会など。

梁平双桂観光文化祭

日時：9月

場所：梁平県

主な内容：開幕式及び公演、竜溪河ドラゴンボートレースなど。

巫溪大寧河ラフティング祭

日時：7月

場所：巫溪県城

主な内容：大寧河ラフティングレース、懸棺・棧道の謎をさぐる、巫山文化ショーなど。

武隆国際山地户外挑戦競技

日時：9月

場所：武隆県

主な内容：峡谷渓流遡行、洞窟探検、ロッククライミング、森林探検、クロスカントリー、大江カヌー・ラフティングなど。

武隆仙女山草競馬祭

日時：7—8月

場所：武隆仙女山国家森林公園

主な内容：「馬」をテーマにしたイベント。草競馬の競馬予想、馬術ショー、乗馬で草原森林風光を観賞、生態観光開発シンポジウムなど。

永川茶山竹海風情祭

日時：4月5日

場所：永川箕山茶山竹海

主な内容：茶山竹海マラソン、自転車競走、登山スポーツ、斗茶会（茶審査技術競技会）、茶山竹海などを観光。

万盛石林ミャオ族踩山会

日時：5月

場所：万盛石林景区

主な内容：万盛ミャオ族の伝統行事。

トウチャ族擺手祭

日時：5、6月

場所：黔江県、石柱県、西陽県

主な内容：トウチャ族の擺手（手振り）踊り、民族商品展示即売、かがり火、阿蓬江小南海、烏江画廊を観光。

銅梁竜灯祭

日時：2月

場所：銅梁巴川鎮

主な内容：蟠竜、競技竜、板発竜、火竜などの竜灯芸術ショー、公演、商談会など。

璧山白雲湖煙花爆竹彩灯祭

日時：2月

場所：璧山白雲湖観光区

主な内容：花火・爆竹、孔明灯を放つ、水陸彩灯の観賞、懐かしい映画上映、女児竜踊り、かがり火・バーベキューなど。

九竜坡走馬桃花観光祭

日時：3月

場所：九竜坡走馬鎮

主な内容：桃の花見、古鎮観光など。

宜昌市

中国宜昌三峡国際観光祭

日時：9月

場所：宜昌市

主な内容：歌舞ショー、山車（だし）ねり歩き、観光発展フォーラム、花火大会など。

荊州市

関帝廟会

日時：旧暦1月と5月13日（2月と6月）

場所：荊州関帝廟

主な内容：竜灯、采蓮船、流鏑馬（やぶさめ）、輿（こし）、竜踊り、獅子舞など。

竜舟祭

日時：旧暦5月5日（6月）

場所：荊州市

主な内容：荊州は中国竜舟文化の発祥地の1つ。「中国荊州国際竜舟祭」は荊州の文化ブランド。竜舟（ドラゴンボート）レース、公演などがある。

武漢市

中国武漢国際観光祭

日時：10月

場所：武漢市

主な内容：ショー、山車（だし）ねり歩き、民俗展示会、観光コースの紹介など。

三峡ダム

観光情報

飲食

重慶市

重慶は四川料理が主体である。「麻（舌がひりひりする）、辣（辛い）、鮮、香」の特色をもつ四川料理と比べ、重慶料理の方は味がもっと濃く、「食は四川、味は重慶」という人もいる。重慶といえば名物は「重慶火鍋」。麻・辣・鮮・燙（やけどするほど熱いと感じる）を特徴にした鍋料理である。代表的な料理に回鍋肉、毛血旺、酸菜魚、泉水鶏、水煮牛肉がある。風味小吃（軽食）では鋪蓋面、雑酱面、卤白鵝、黄涼粉、羊肉湯がある。市内の解放碑、南濱路、観音橋、南方花園、三峡広場などにおいしい料理の店が集まっている。

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
陶然居飯店	重慶市渝中区解放碑鄧容広場英利大厦 6 階	23-63792466
外婆橋飯店	重慶市渝中区解放碑鄧容路 68 号大都会広場	23-63835988
老四川飯店	重慶市渝中区民族路 184 号会仙楼 2 階	23-63826644
小天鵝巴渝食府	重慶市渝中区民族路 22 号新世紀広場 6 階	23-63788811
九重天回族風味庁	重慶市渝中区八一路 168 号渝都大酒店 29 階	23-63828888
渝旅登景鍋食府	重慶市江北区北濱路珠江太陽城 2-1 号	23-67014067
阿興記大飯店	重慶市江北区五黄路流星花園側	23-67861313
巴城火鍋	重慶市南岸区南濱路中段	23-89023129
渝信川菜	重慶市南岸区海棠晚月南濱路第一大道 16 号楼	23-62822088
江陵仙魚頭鍋	重慶市渝北区双風路 178 号	23-67814496
翠寶水煮魚	重慶市渝北区双竜大道 426-428 号	23-67849999

重慶鍋

重慶鍋

宜昌市

宜昌料理は「原汁（煮込みスープ）、咸鮮（しょっぱい）、偏辣（やや辛い）」が特徴で、なかでも「老九碗」宴、長江肥魚鍋が最も知られている。「老九碗」宴は宜昌の郷土料理の代表格で、フルコースは地元色の濃いメニュー 9 品で構成され、いずれも大きなお碗に盛って出され、その味を味わわなければいけない。

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
順和尚景生態酒店	宜昌市汕頭路 17 号	717-6906378
山野大酒店	宜昌市夷陵大道 147 号	717-6467777
沙竜宴（夷陵広場店）	宜昌市西陵　路 45 号	717-6853337
放鮫酒家	宜昌市南津関三峡洞橋頭	717-8862179
桃花嶺飯店	宜昌市聖集路 29 号	717-6236666
2068 香辣蝦	宜昌市紅星路	717-6345677
泰祥順飯荘	宜昌市西陵区二馬路 30 号	717-6223620

荊州市

荊州は「魚米の郷」として知られ、荊州料理の料理も淡水湖の水産物を調理したもの。全魚宴、冬瓜鱉裙蒸（すっぽんの甲羅の周囲の柔らかくてうまい肉の蒸し物）、荊州魚糕、八宝飯、珍珠団子などがお勧め。

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
傑妹火鍋	荊州市沙市区北京中路 330-1 号 3 階	716-8999188
大紅袍	荊州市沙市区沙隆達広場	716-8211107
金草帽自助烧烤	荊州市沙市区沙隆達広場	716-8224408
金九竜大酒店	荊州市南環路 18 号	716-8478888
小天鵝火鍋	荊州市沙市区北京西路 406 号	716-8515222
盆盆香（江漢南路）	荊州市沙市区江漢南路歩行街 A13-127	716-8129077
湘里人家	荊州市監利県天府東路	716-3583777

武漢市

武漢人は食べるのが好きで、作り方もよく知っている。武漢の独特な料理と軽食（風味小吃）もそこから生まれた。湖北料理の定番と言えば「清蒸武昌魚」、「黄焖甲魚」、「清炒紅菜苔」など。また老舗「老通城」の豆皮（薄くて湯葉のようなもの）、「四季美」の湯包（スープの味に重点を置く肉まん）、「蔡林記」の熱乾麺（ピーナッツ味のタレと混ぜてある麺）、「五芳斎」の団子が 4 大伝統軽食である。武漢麻辣鴨脖子（アヒルの首）、鴨掌（アヒルの水かき）も食い意地を張らせる。緑豆糕（緑豆ケーキ）、米花糖（おこし）、青山麻烘糕などもおいしい。

户部巷朝食通り

「武漢風の朝食が一番うまい」と評判の户部巷は武昌区自由路にあり、150 mの通りの両側にずらっと早点（朝食に食べるもの）の店が並んでいて、味も香りもよく、朝早くから賑わっている。户部巷の朝食店は早朝 4—5 時から 10 時ころまで営業している。

江漢路歩行者天国

精武鴨首（精武というブランドの鴨の首）

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
老漢口	武漢市江漢区漢口江漢北路8号循礼門金茂大楼1階	27-85561617
楚灶王大酒店	武漢市洪山区武昌雄楚大道183号（石牌橋路口）	27-87671717
巴山夜雨総督府	武漢市武昌区新民主路786号	27-87735777
湘鄂情	武漢市武昌区武昌体育館路特1号洪山体育館内	27-87320929
老房子親水陶坊	武漢市武昌区武昌徐東路6号	27-86715388
金色雲都	武漢市江岸区漢口台北二路64号	27-85758214
重慶鉄鍋門養生番麺館	武漢市江漢区江漢四路181号傑華大厦4階	27-82832088
三川麻辣風（光谷店）	武漢市洪山区光谷歩行街D区4楼	27-87052457
湖錦酒楼（八　路店）	武漢市武昌区武昌八一路105号	27-87278811
一品私房菜	武漢市洪山区民苑路中南財経政法大学傍	27-51784888
湘味濃（大智路店）	武漢市江岸区漢口大智路56号	27-82830612

宿泊

国番号（0086）

名　称	星クラス	所在地	電　話
重慶市			
重慶万豪酒店	5	重慶市渝中区青年路77号	23-63888888
重慶海逸酒店	5	重慶市渝中区五一路	23-63700888
重慶君豪大飯店	5	重慶市江北区金源路9号	23-86338888
重慶揚子江假日飯店	4	重慶市南岸区南坪新街87号	23-67808888
万友康年大酒店	4	重慶市渝中区大坪長江二路77号	23-68718888
重慶劲力大酒店	4	重慶市石橋鋪科園二路9号	23-68626666
宜昌市			
国賓花園酒店	5	宜昌市開発区城東大道46号	717-6331111
夷洲堰賓館	5	宜昌市夷陵路3号	717-8866666
宜昌国際大酒店	4	宜昌市沿江大道121号	717-6222888
三峡工程大酒店	4	宜昌市三峡堰区堰河口	717-6613666
荊州市			
晶嵐国際大酒店	5	沙市区公園路12号	716-8222222
荊州賓館	4	荊州区迎賓路8号	716-8467600
金九龍大酒店	4	荊州区南環路18号	716-8478888
紅苑大酒店	3	沙市区江津中路263号	716-8263388
武漢市			
東方大酒店	5	漢口火車站広場東側	27-85888668
シャングリーラ大飯店	5	漢口建設大道700号	27-85806868
華美達天緑酒店	5	漢口青年路5号	27-83630888
新維諾富特大飯店	5	漢口建設大道558号	27-85551188
東湖大厦	5	武昌姚家橋731号	27-67813999

重慶洲際酒店（ホテル）

重慶万友康年大酒店（ホテル）

交通

重慶市

民間航空旅客輸送

重慶の江北国際空港は重慶市渝中区にあり、市街区から21 kmの距離である。北京、上海、香港、澳門（マカオ）、海口、三亜、ハルビン、武漢、宜昌、張家界、西安、西寧、ラサ、ウルムチなど、国内46都市（地区）への航空路線が開設されている。

また、韓国のソウル、日本の東京、名古屋、タイのバンコク、ドイツのミュンヘン、デュッセルドルフなどへの国際航空路線も開設されている。

チケット予約：0086-23-63639700

長江水上運輸

重慶の旅客船埠頭は渝中区の東端、長江と嘉陵江の合流点である朝天門にあり、遊覧船で長江三峡を観光する発着港である。102、128、232、382、401、418路の公共バス、トロリーバスが直通し、24時間運行のバスやタクシーもある。

港の旅客輸送問い合わせ電話：0086-23-63100659

宜昌市

民間航空旅客輸送

宜昌市の三峡空港は宜昌市虢亭区にあり、市中心から25 kmの距離にある。北京、上海、深圳、広州、武漢、重慶、済南、成都、南寧、張家界などへの航空路線が開設されている。

三峡空港チケット予約：0086-717-6230333

長江水上運輸

宜昌港の旅客輸送ターミナルは繁華街の九碼頭にあり、地理的に恵まれて交通が便利で環境も良く、長江幹線航路の6大中枢港の一つである。上流は重慶へ、下流は上海への10数本の内河航路が開通し、長江三峡の旅の中継港、始発港になっている。

宜昌旅客輸送ターミナル案内所電話：0086-717-6445314

荊州市

沙市港は荊州区から7.5 km、長江中流荊江区間の北岸にあり、長江を808 km遡って宜昌を経て重慶に至る。また流れに従って478 km下れば武漢港に着く。沙市港は長江三峡遊覧船の中継接岸埠頭で、長江の経済開放開発ベルトにおける10大新型港湾の一つである。

荊州港務集団公司：0086 716 8277502

武漢市

長江水上運輸

武漢の天河空港は市街区からバスに乗り、長さ17.8 kmの全閉鎖高速道路を走

重慶航空

重慶旅客船

り20分で到着できる。国内36都市へ50余りの航空路線が開設されている。香港、澳門（マカオ）、バンコク、福岡への直航チャーター便が就航し、定期的に往復している。

湖北空港自動番号案内：0086-27-85818658
空港航空便自動問い合わせ：0086-27-85818305
東方航空公司サービスホットライン：95530

長江水上運輸

武漢は長江の水上運輸の中心であり、長江の大半の遊覧船公司が本部を武漢に置いている。長江輪船海外観光総公司、湖北省揚子江游船公司、湖北海外観光船有限公司、東方皇家などがそうである。これらの船会社は長江三峡の観光サービスを提供しており、観光船チケットを購入する場合、観光公司と直接連絡するか、またはそのチケット代理店で買う。

鉄道旅客輸送

武漢は中国北部、西南部、中南部、東部を結ぶ鉄道の中枢にあり、鉄道交通は極めて便利である。武昌駅と漢口駅が武漢の主要な列車旅客輸送ターミナルで、始発列車は毎日70本を越え、経由する列車も120本以上あり、北京、上海、広州など20余りの大中都市に直通している。

武昌列車駅サービスホットライン：0086-27-88068888
漢口駅問い合わせ電話：0086-27-50536555
武昌チケット売り場：0086-27-88066668

ショッピング

重慶市

重慶は地域が広く物産が豊かで、解放碑、江北観音橋、沙坪壩三峡広場、南坪歩行街、九竜坡楊家坪歩行街の5大商業圏がある。代表的な特産物は石柱のオウレン、オニノヤガラの薬草、涪陵のザーサイ、合川の桃片（菓子）、江津の米花糖（おこし）である。

蜀江の錦

風味食品は種類が多く、金角牌五香牛肉乾（甘辛・ビーフジャーキー）、涪陵ザーサイ、合川桃片、江津おこしなどが挙げられる。手工芸品も古い歴史があり、栄昌扇子、ラミー布地、陶磁器が国内外でよく知られている。また各種の漆器、にしき織、牛角彫り、陶彫、刺繍、石刻、竹編み物なども特色がある。

解放碑歩行街

渝中区にあるビルやオフィスが立ち並ぶ繁華街地区。歩行者天国の中央に抗日戦争勝利を記念する時計台（解放碑）がある。ホテル、大型デパート、ファーストフード店、スターバックスなどのほかに、周辺には庶民感あふれる「好吃街」等の食事処もある。重慶の町を見るなら解放碑に行くといい。

南濱大道一条街

南岸区にある美食、娯楽、観光が一体になったレジャー通り。通りの南側にホテルやレストラン、ダンスルームが並び、夜になると多彩なネオン灯に照らされて賑わい、窓越しに鍋料理に舌鼓をうつ人たちが見える。通りの北側には重慶江灘公園、噴水、芝生、彫塑、街路灯があり、長江から吹く微風が心地よく、欄干にもたれて眺める川面の散らばった光、岸辺の輝く灯火、山城の夜景が美しい。

国番号（0086）

名称	所在地	電話
重慶観光商品展銷中心	重慶市渝中区洪崖洞二路	23-63236151
美美時代広場	重慶市渝中区都郵路100号	23-63741188
工府井百貨	重慶市渝中区民族路166号地王広場	23-63746808
太平洋百貨	重慶市渝中区都郵路68号	23-63710088
重慶百貨大楼	重慶市渝中区民権路2号	23-63836029
中興路古玩市場	重慶市渝中区中興路75号	23-63837134
重慶景点土産玩城	重慶市渝中区人民路大礼堂駅	23-89875393
新世界百貨	重慶市江北区徒歩街6号天来国際大厦	23-67700888

宜昌市

地元と三峡の特産物が多く、ミカン、キウイ、カキなどがある。春眉茶、峡州翠緑茶、茉莉春尖茶、采花毛尖などの茶が有名である。また質のよいクリ、シイタケ、キクラゲもある。

魔芋（こんにゃく）で作った豆腐は舌触りがよく腰もあり、美味しい。こんにゃくにはダイエット、血圧を下げる、腸癌を予防できる働きがある。

国番号（0086）

名称	所在地	電話
三峡観光客センター	宜昌市開発区発展大道58号	717-6300111
時代購物広場	宜昌市解放路52号	717-6760139
宜昌商場	宜昌市夷山大道108号（葛洲坝近く）	717-6443593
国貿大厦	宜昌市夷山大道106号（広場路近く）	717-6444683
雅斯購物広場	宜昌市東湖大道附近	717-6457802
宜昌丹尼斯百貨	宜昌市夷陵大道	717-6445280

荊州市

荊州の漆木器、羽扇、にしき織り、文物複製品（鳳凰虎座鼓、編鐘など）は地元の文化的特色をもち、収蔵品としてもプレゼントとしてもよい。

国番号（0086）

名称	所在地	電話
美佳華購物中心	荊州市沙市区北京路と漢江北路の交差点	716-8216488
時代広場	荊州市沙市区北京中路189号	716-8248888
中百購物広場	荊州市沙市区北京路西	716-8525825
武商量販	荊州市沙市区武商量販	716-8331833

武漢市

武漢の手工芸品は造りが精細で、独特の風格をもつ。高洪の泰銅鑼、緑松石（トルコ石）彫、武漢の木刻船、黄陂の泥塑、武漢の絹製の造花などが国内外で有名で、観光客から喜ばれる。

吉慶街

武漢市江岸区大智路にあり、長さ200m、幅30mの通りに、500余りの屋台がところ狭しと立ち並ぶ。夕暮れ時になるとネオンが灯り、人出も増えて混雑し大賑わいになる。うまい食べ物のオンパレードに、流し芸人の歌や音曲も堂に入って、食道楽と民俗が織りなす活気とエネルギーで盛り上がる。

江漢路商業徒歩街

漢口の中心にあるこの界隈の旧市街は、2000年9月に武漢初の遊歩道に生まれ変わった。全長1210mの長い通りの両側に高層ビルが建ち並び、現代風とヨーロッパ風の建物が渾然一体になっている。きれいなショーウィンドーと多種多様な商品が都市の格調の高さを表し、のどかな音楽や風変わりなベンチなどが風雅な趣を添えている。洋服や装身具を売るしゃれたブティックも品揃えが高級でハイセンスである。武漢生活の特色を表現した都市彫塑が通りのあちこちに置いてあって人々の足を引きとめている。

漢正街

漢正街は500年の歴史があり、漢口で最も古い街路のひとつである。整然とした清潔な通りに店舗が並び建ち、華中地域で最大の日用品の集散地、卸し問屋街である。価格が安く品ぞろいが良く、伝奇的な色彩もあいまって毎日多くの消費者と観光客を引き付けている。

国番号（0086）

名称	所在地	電話
漢商21購物センター	漢陽大道697号家家福（カルフール）2階売り場	27-8462 573
中百倉儲スーパー	唐家墩購物広場	27-85607726
王府井百貨	武漢市中山大道888号	27-82702228
新世界百貨	武漢市解放大道566号	27-85803778
中百集団	武漢市江漢路	27-82841892
漢商21購物センター	武漢市漢陽区翠陽大道	27-84621046

娯楽

重慶市

重慶はレトロとモダンが混在した現代都市で、街には数多くの映画館、KTV、喫茶店、バー、カフェテリア、ダンスルーム、体育館、ジムなどのレジャー・娯楽施設があり、人々のニーズに応えている。

国番号（0086）

名称	所在地	電話
重慶大劇院	重慶市江北区北城文華街東路	23-61863166
重慶UME国際影城（映画館）	重慶市江北区北城天街8号購物広場6区5F	23-67701166
時代クラブ歌劇院	重慶市江北区観音橋金源大飯店地下不夜城	23-67956333
文化宮影劇院	重慶市渝中区中山二路174号	23-63619693
都郵国際クラブ	重慶市渝中区両路口中山路131号	23-66004999
上島咖啡（地王店）	重慶市渝中区民族路地王広場	23-89033033

宜昌市

宜昌のレジャー娯楽施設はかなり発達しており、『盛世峡江』、『梦・三峡』、『楚水巴山』などの大型ショーは高く評価されており、観光客のレジャー娯楽を豊富にしている。またバーや喫茶店、カフェテリア、映画館なども観光客にくつろぐ環境を提供している。

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
虎亭影劇院	宜昌市桐溪路附近	717-6511655
平湖影劇院	宜昌市夷陵区	717-7821755
流金歳月咖啡厅	宜昌市雲集路 38 号 -D	717-6733599
鎮江魚茶荘	宜昌市沿江大道 23 号	717-6773503
蘭桂坊咖啡語茶	宜昌市東山大道（夷陵広場附近）	717-6441062
名典咖啡語茶	宜昌市東山大道（夷陵広場附近）	717-6442822

荊州市

荊州はローカルな音曲芸能が盛んな土地柄で、地方劇の「荊州花鼓戯」は特に名高い。唱腔（節回し）、曲牌（曲の調子の名称）が約 80 種余りあり、多くは地元の民謡で、主腔には「高腔」、「打鑼腔」、「四平腔」、「圻水腔」といった唱腔があり、歌謡には「思児」、「綉荷包」、「双撒笋」などの演目がよく知られている。こうした伝統的娯楽のほか、現代的雰囲気のあるバー、喫茶店、映画館なども揃っている。

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
江漢影部（映画館）	荊州市北京路	716-8213318
凱楽大劇院	荊州市北京路 390 号	716-8230039
秀玉紅糸坊	荊州市北京中路三進花園	716-8191116
豊中天茶楼	荊州市中山路	716-7273675
流金歳月茶社	荊州市中山路 268 号	716-7771888

武漢市

武漢は伝統性と現代性を兼ね備えた都会で、伝統的な戯劇、音曲芸能などの娯楽だけでなく、映画館、劇場、コンサートホール、コーヒールームなどモダン的な娯楽場所もある。

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
環芸天河影城（映画館）	武漢市王家湾（家樂福）21 世紀娯楽中心 3 階	27-84675900
江漢環球電影院（映画館）	武漢市武昌司門口解放路 464 号	27-88863743
湖北劇院銀幕電影城（映画館）	武漢市武漢長江大橋と武珞路交差点	27-88926661
武漢金逸国際電影城（映画館）	武漢市武昌徐東大街 18 号	27-68898563
武漢影城（映画館）	武漢市江岸区漢口台北路 153 号	27 85484551
石烤咖啡館（新華店）	武漢市解放大道 586 号	27-85791955

川劇（地方劇）

繁華な市街区

老街咖啡	武漢市漢口沿江大道 154 号	27-82848225
巴山夜雨茶館	武漢市武昌新民主路 737 号	27-87832173
西子湖畔茶芸館	武漢市漢口万松園新華明園路 18 号	27-85805060
静雅茶芸館	武漢市漢口硚口路 144 号	27-83750102

旅行会社

国番号（0086）

名　称	所在地	電　話
重慶市		
重慶海外旅業（旅行会社）集団有限公司	重慶市江北区紅旗河溝理想大厦 10 階	23-63638000
重慶新世紀国際旅行社有限公司	重慶市南岸区南坪東路 6 号南坪大厦 B 棟 8 階	23-62949883
重慶中国国際旅行社有限公司	重慶渝中区解放碑鄭容広場 A 座 8 階	23-63727755
重慶長江国際観光公司	重慶市渝中区八一路 13 号	23-63788527
重慶区豊国際旅行社有限公司	重慶市豊都県三合鎮濁江東路 27 号	23-70719036
重慶中国青年旅行社有限公司	重慶市渝中区中山一路 134 号	23-63709619
重慶光大国際旅行社有限公司	重慶市江北区嘉新北路 76 号	23-67732222
重慶康輝旅行社	重慶市中山二路 200 号潜天大厦 A 座 22-4	23-63500599
重慶中国旅行社	重慶市渝中区五四路 39 号都市広場 A 座	23-63728888
宜昌市		
三峡中国国際旅行社	宜昌市隆康路 21 号	717-6224388
大三峡国際旅行社	宜昌市東山大道 80 号	717-6753456
宜昌中国旅行社	宜昌市解放路 52 号三峡商城 A 座	717-6760392
宜昌中国青年旅行社	宜昌市雲集路 21 号	717-6251929
荊州市		
荊州中国国際旅行社	荊州市荊東路 52 号	716-8466429
荊州中国青年旅行社	荊州市屈原路 37 号	716-8462821
武漢市		
長江輪船海外旅游総公司	武漢市漢口沿江大道 69 号長航大厦 1 階	27-85642538
湖北省中国旅行社	武漢市武昌体育館路 1 号門市部 2 階	27 87320087
湖北省揚子江国際旅行社	武漢市漢口解放大道単洞路口国際大厦 8 棟 21 階	27-81881899
湖北省中国青年旅行社	武漢市武昌水果湖東三路 7 号	27-87832540
中南国際旅游公司	武漢市漢口黄石路 58 号	27-82810888
武漢市春秋国際旅行社有限公司	武漢市解放大道 634 号	27-82779977
湖北天鵝国際旅行社	武漢市武昌中北路 24 号竜源国際広場 A 座 1908 室	27-87817087
湖北南方国際旅行社	武漢市京漢大道 747 号威宝大厦 5 階	27 85836007
湖北省中国旅行社	武漢市武昌才俊街駅	27-86826797

遊覧船会社

長江観光は長江遊覧船（クルーズ船）事業の発展を大々的に促した。現在の接待条件とサービスレベルは、ミシシッピー川、ライン川、ドナウ川、ナイル川などの世界の内地河川の遊覧船と肩を並べることができる。長江観光のコンテンツは豊富で、世界によく知られている長江三峡の船旅は、世界の内地河川観光において発展がもっとも速く、もっとも人気を集める観光目的地の 1 つとなっている。アメリカ元大統領ジミー・カーター、元国務長官ヘンリー・アルフレッド・キッシンジャー、マイクロソフト社の共同創業者・会長ビル・アンド・メリンダ・ゲイツも長江遊覧船に乗ったことがある。長江遊覧船のサービスはたえず向上し、数多くの海外の観光客をひきつけている。

遊覧船のロビー

長江三峡の観光コースは多く、武漢—重慶三峡ツアー（4—5日間）、宜昌—重慶三峡ツアー（3日間）、宜昌—奉節—宜昌の三峡精選ツアー（2—3日間）などがある。重慶—上海長江全線ツアー（約10日間）でも三峡風光を堪能できるが、運航しているのは大部分が武漢—重慶または宜昌、沙市（荊州）—重慶の定期便である。また船のチャーター便やレンタル業務も取り扱い、旅客がコースや接岸する観光スポットなどを選ぶこともできる。長江遊覧船が接岸可能な埠頭は約20ある。

長江輪船海外旅游総公司

長江で国際観光コースを最も早く開発した長江遊覧船会社であり、1978年に長江初の豪華遊覧船「崑崙号」が運行して以来、20数年を経た今では中国長江で最大の規模と実力をもつ専業観光公司となっている。5つ星クラスの長江天使ビクトリアシリーズ、4つ星クラスの国賓シリーズの遊覧船20艘を擁し、ハード面の施設がそろいソフト面のサービスもよく、「中国国賓船隊」と称えられている。

本部所在地：武漢市漢口沿江大道69号長航大厦8階
電話：0086-27-85642538
ファックス：0086-27-85661821
ウェブサイト：http://www.ccotc.com
アドレス：ccotc@public.wh.hb.cn

湖北東方皇家旅游船有限公司

1993年に設立されたこの公司は、遊覧船「東方皇帝」号、「長江探索」号（元の名は「東方皇后」号）を運行している。質の高い観光サービス施設、豊富な接待や特別会議のサービス経験を持つことから、1997年に中国国家観光局から「5つ星クラス内河遊覧船」に認定された。

所在地：武漢市漢口新華路316号世紀華庭B座2001室
電話：：0086-27-85769988
ファックス：0086-27-85766688
ウェブサイト：http://www.orientroyalcruise.com
アドレス：wuhan@orientroyalcruise.com

宜昌長江皇家国際游輪有限公司

「中国皇家公主」号シリーズの「仙妮」、「仙娜」、「仙婷」遊覧船を擁している。国外で建造されたこれらの遊覧船は船体が長く、旅客収容人数が多く、中国で最初に登場した5つ星クラスシリーズの観光船である。2003年に「仙婷輪」は中国海事局から「安全誠信船舶」に認定された。

本部所在地：宜昌市夷陵区東山大道95号清江大厦2106室
電話／ファックス：0086-717-6318657/6318684
ウェブサイト：http://www.chinaregalcruises.com
アドレス：ymz@cnrcc.com

長江遊覧船

三峡沿線の観光埠頭一覧（部分）

重慶朝天門埠頭

三峡遊覧船の重要な接岸埠頭で、重慶を起点とする三峡観光の多くはここから出航する。

重慶豊都埠頭

ここから豊都鬼城へ行ける。

重慶忠県埠頭

ここから石宝寨などの風景区（観光スポット）へ行ける。

重慶雲陽埠頭

ここから雲陽張飛廟へ行ける。

重慶奉節埠頭

ここから奉節白帝城へ行ける。

湖北巴東長江（長渡河）観光埠頭

現在3つのバースがあり、神竜渓（国家AAAA級観光景区）へ向かう重要な接岸埠頭。

湖北三峡人家観光埠頭

三峡航路の最大の観光船が接岸でき、ここから主として三峡人家風景区へ行ける。

湖北黄陵廟観光埠頭

三峡ダムサイトで唯一の「渉外」（外国人向け）観光専用埠頭。ここから主に三峡ダム観光区、黄陵廟など風景区（観光スポット）へ行ける。

興山昭君観光埠頭

1000トン級の遊覧船が接岸でき、ここから昭君故里景区へ行ける。神農架までわずか2時間の距離。

湖北屈原祠観光埠頭

神農架への観光専用埠頭。

湖北秭帰港

秭帰（しき）港は国家三峡建設委員会が指定したダム越えの埠頭で、三峡観光の重要な中継港でもある。ここから主にダム観光区、屈原祠などの風景区（観光スポット）へ行ける。

宜昌桃花村埠頭

長江の「渉外」（外国人向け）専用埠頭で、ここから主に宜昌葛洲壩ダム水利中枢、三遊洞風景区（観光スポット）などへ行ける。

沙市港

武漢—宜昌の間にある中継埠頭である。ここから主に荊州古城、荊州博物館、荊州東門景区（観光スポット）などへ行ける。

武漢港豪華遊覧船埠頭

長江の「渉外」（外国人向け）専用埠頭であり、ここから主に東湖風景区、黄鶴楼（江南3大名楼）などの風景区（観光スポット）へ行ける。

三峡豪華遊覧船のサービスと消費

1.船内の飲食

船上では一日に3食を用意しており、朝食は中華と洋食のバイキング、昼食と夕食は中華料理が中心である。旅客は予約することで一部を洋食にすることもできる。もし食べられないタブーの食品があれば、乗船切符を予約するときに説明しておく必要がある。

2.船内の飲用水

船内の生活用水は飲用できない。船内で飲用するお湯はすべて厳格に濾過して沸かしたものである。

3.荷物に関するサービス

手荷物に制限はない。通常、客室（キャビン）に荷物棚が設けられている。客室が比較的小さな船には荷物預かり所もある。団体客の場合は催行する旅行会社が船の関係部署に連絡の上、船に預ける。旅客の荷物は前もって船に預けて置くか、または乗船時に預ける。旅客の客室が決ったあと、荷物は客室に届けられる。また、フリーの旅客の荷物については乗船・下船に際して搬送サービスがあるが、サービス料は別途に支払うことになる。

4.中国の法律の決まりで公共エリアでは禁煙になっている。たばこは甲板または決められた喫煙室で吸う。一部の遊覧船では禁煙の階層や客室が設けられており、利用する場合は前もって予約することができる。

5.船内の医療

船内に医療室と医者がついているが、各種の医療サービスはすべて別途に費用を支払う必要がある。医療室は客室まで出向いて往診することが可能である（24時間常時）。

6.電話とファックス

長江三峡航路全線でGSM電話を利用でき、一部の地区ではCDMA電話も利用できる。一部の船では客室内で国内外へ長距離電話をかけることができない場合もあり、必要ならばビジネスセンターに出かける。

7.ビジネスセンター

船内では電信、電報、ファックスのサービスを提供している。長江遊覧船では通常、衛星電話、ファックスのほか、船上での携帯電話利用が可能で、陸上との連絡は便利である。また、コピーやパソコン、スライド映写機、タイプライターのレンタル業務を取り扱い、秘書サービスもある。

長江三峡標準時刻表（もし変更があった場合、年間の遊覧船航路表に準じる）

1. 重慶—宜昌航路

宜昌—重慶 3泊4日

	港口	到着	出発	観光スポット
D1	宜昌 桃花村 黄陵廟 巴東	 09:00 19:00	07:00 11:30 	宜昌桃花村埠頭から出航 遊覧船から西陵峡風光を観光(07：00-08：30) 上陸して三峡大ダムを遊覧 遊覧船が三峡大ダム閘門を通過（11：30-15：30） 遊覧船から西陵峡風光を観光(16：00-16：50) 巴東神農渓深で宿泊
D2	巴東 奉節	08:00 16:30	12:00 19:00	遊覧船に乗り換え、巴東神農渓風光を観光 遊覧船から巫峡風光を楽しむ(12：10-14：30) 遊覧船から瞿塘峡風光を見る(16：00-16：20) 上陸して白帝城を観光
D3	石宝寨 豊都	07:30 15:00	10:00 19:00	上陸して石宝寨を遊覧 中国神話の郷　豊都鬼城を遊覧
D4	重慶	09:00		重慶港に到着

長江三峡のスタートライン

重慶—宜昌 2泊3日

	港口	到着	離开	観光スポット
D1	重慶 涪陵 豊都	 13:00 18:30	08:00 16:00 21:00	重慶から出航 上陸して涪陵白鶴梁水下博物館、涪陵博物館を観光 夜間、神曲の郷——豊都鬼城を遊覧 注：白鶴梁水下博物館が開放するまで、豊都観光時間は16：00-18：30
D2	 巫山	08:00 12:00	10:30 16:00	上陸して白帝城を遊覧 遊覧船から瞿塘峡風光を楽しむ(10：30-11：00) 上陸して巫山小三峡風光を観光 遊覧船から巫峡風光を観る(16：00-18：00) 二峡ダム閘門を通過(21：50-02：00) 黄陵廟埠頭で宿泊
D3	黄陵廟 宜昌 桃花村	08:00 12:00	10:30	上陸して三峡ダムを観光 船上で西陵峡風光を楽しむ(11：00-12：00) 宜昌桃花村埠頭に到着

注：西陵峡上流の遊覧を確保するには、白帝城の自費観光を取り消し、午前中は小三峡を観光するようにしたほうがよい。

巫山小三峡

2. 重慶—武漢航路

武漢—重慶 5泊6日

	港口	到着	始発	観光スポット
D1	武漢		20:00	武漢港から出航
D2	城陵磯	09:00	11:00	上陸して岳陽楼を遊覧、洞庭風光を眺める
D3	 黄陵廟 巴東	 15:00 00:30	 17:30	遊覧船が葛洲ダム閘門を通過（11：00-12：30） 遊覧船から西陵峡風光を観賞(12：30-14：00) 上陸して三峡ダムを遊覧 遊覧船が二峡ダム閘門を通過（16：30-20：30） 巴東神農渓で宿泊
D4	巴東 奉節	08:00 16:30	12:00 19:00	遊覧船に乗り換え巴東神農渓風光を観光 遊覧船から巫峡風光を観賞(12：10-14：30) 遊覧船から瞿塘峡風光を眺める(16：00-16：20) 上陸して白帝城を観光
D5	石宝寨 豊都	07:30 15:00	10:00 19:00	上陸して石宝寨を遊覧 中国神曲の郷——豊都鬼城を遊覧
D6	重慶	09:00		重慶港に到着

注：必要に応じてD6は宜昌黄陵廟で15：00に途中で下船または乗船が可能

西陵峡

重慶—武漢 3泊4日

	港口	到着	始発	観光スポット
D1	重慶 涪陵 豊都	 13:00 18:30	08:00 16:00 22:30	重慶から出航 上陸して涪陵白鶴梁水下博物館、涪陵博物館を遊覧。 夜間、中国神曲の郷——豊都鬼城を遊覧 注：白鶴梁水下博物館が開放する前、豊都での観光時間は16：00-18：30
D2	 巫山	08:00 12:00	10:30 16:00	上陸して白帝城を観光 遊覧船から瞿塘峡風光を眺める(10：30-11：00) 上陸して巫山小三峡を遊覧 遊覧船から巫峡風光を眺める(16：00-18：00) 遊覧船が二峡ダム閘門を通過(21：50-02：00) 夜間、黄陵廟埠頭を観光
D3	黄陵廟	08:00	10:30	上陸して三峡ダムを観光 遊覧船から西陵峡風光を眺める(11：00-12：40) 遊覧船が葛洲壩閘門を通過（12：40-14：10）
D4	武漢	13:30		武漢に到着
注：必要に応じて3日目は宜昌黄陵廟で08:00に途中で下船または乗船が可能				

3. 重慶—上海航路

重慶—上海 6泊6日

	港口	到着	始発	観光スポット
D1	重慶 涪陵 豊都	 13:00 18:30	08:00 16:00 22:30	重慶から出航 上陸して白鶴梁水下博物館、博物館を見学 夜間　中国神曲の郷——豊都鬼城を遊覧
D2	 巴東	 14:30	 18:30	遊覧船から瞿塘峡風光を眺める(10：30-11：00) 遊覧船から巫峡風光を観賞(12：30-14：30) 遊覧船に乗り換え、神農渓風光を観光 遊覧船が三峡ダム閘門を通過(21：50-02：00)、黄陵廟埠頭で宿泊
D3	黄陵廟	08:00	10:30	上陸して三峡ダムを観光 遊覧船から西陵峡風光を観る(11：00-12：40) 遊覧船が葛洲壩閘門を通過（12：40-14：10）
D4	武漢	13:30	18:00	上陸して省博物館、武漢外滩、歩行街を観光
D5	池州	09:30	22:00	九華山または黄山の日帰り観光
D6	南京 揚州 上海	08:00 12:30 21:30	11:00 18:00	朝食後、南京で下船、中山陵、鼓楼寺を観光後、 車で揚州に向かう(01：30)、昼食後、瘦西湖、ぬいぐるみ玩具市場を見物し、 夕食後、車で上海へ(03：30)

上海—重慶 8泊9日

	港口	到着	始発	観光スポット
D1	上海 揚州 南京	 11:30 18:00	08:00 15:30	上海で迎え、車で揚州へ(03：30) 昼に揚州に到着、昼食をとる。午後、揚州で半日瘦西湖、ぬいぐるみ玩具市場を観光。 16：30車で南京へ遊覧船に乗り、夕食後、 南京古城(秦淮風光—夫子廟、1912酒吧街)を遊覧
D2	南京		11:00	南京半日観光(中山陵、鼓楼寺)
D3	九江	13:00	20:00	上陸して中国陶磁器の都—景徳鎮を観光
D4	武漢	12:30	20:00	上陸して省博物館、武漢外滩、徒歩街を観光
D5	城陵磯	09:00	11:00	上陸して岳陽楼、洞庭風光を観光
D6	 黄陵廟 巴東	 15:00 00:30	 17:30	遊覧船が葛洲壩閘門を通過（11：00-12：30） 遊覧船から西陵峡風光を観賞(12：30-14：00) 上陸して三峡ダムを観光、遊覧船が二峡ダム閘門を通過（16：30-20：30）、巴東神農渓に宿泊
D7	巴東 奉節	08:00 16:30	12:00 19:00	遊覧船から巴東神農渓風光、 巫峡風光を観賞(12：10-14：30)、 遊覧船から瞿塘峡風光を観賞(16：00-16：20) 上陸して白帝城を観光
D8	石宝寨 豊都	07:30 15:00	10:00 19:00	上陸して石宝寨を観光 中国神曲の郷——豊都鬼城を観光
D9	重慶	09:00		重慶港に着く

武汉市旅游局
Wuhan Tourism Administration

WELCOME

すばらしい武漢

TO

魅力溢れる江城

WUHAN

ご覧いただきありがとうございます！